

子育て、親子支援

1 中央公民館

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP)

(1) ねらい

- ①初めて子育てをする母親を対象に、子どもとの関わり方を学ぶ。
- ②母親同士が仲間をつくって悩みを話し合うことで、子育ての不安を解消し、親として成長する。

(2) 対象等

市内在住の生後2か月から5か月の第1子とその母親

(3) 内容 (中央公民館実施)

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
10/11 (火) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いに知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技	子育て支 援課 BPファ シリ テーター	22
10/18 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			18
10/25 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			16
11/1 (火) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			14

(4) 評価と反省 (中央公民館実施分)

第一子を育てている母親が同じような月齢の子を持つ仲間と気軽に交流することで、育児の不安や悩みを解消する場となっている。

回を重ねるごとに親しくなっていく様子が見られ、参加者の感想で、「月齢の近い人と会えてお話ができて悩みが共有できて良かった」「自分だけではなく皆同じ悩みがあって安心した」「いろいろな情報を皆さんにもらえて良かった、たった4回でしたが充実してよかった」等、満足感ある感想が得られ、ベビープログラムが終了でき

た。

その後、参加者が団体登録をして毎月中央公民館を利用し、情報交換等をしている。



講師の話



参加者どうして

(3) 内容 (第四コミセン共催)

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1/16 (月) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いに知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技	子育て支 援課 B P ファ シリ テーター	3 2
1/23 (月) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			3 6
1/30 (月) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			3 2
2/6 (月) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			3 2

(4) 評価と反省 (第四コミセン実施分)

14組を募集していたが、最終的に20組の申し込みがあったので、講師を増やして全組参加可能とした。

出産後、外出機会が少なかった母親同士が交流し、子育ての悩みを共有し合う大変有意義な講座となった。回が進むにつれて積極的に交流する様子が見られ、良い雰囲気の中で実施することができた。

今回の参加者も、第四コミュニティセンターに団体登録して定期的集まることを計画している。

紙芝居のヒーロー焼きまんじゅうろう参上！

(1) ねらい

- ①出来る限りの感染対策を実施し、保護者や養育者などの関係者が学べる機会を提供する。
- ②コロナ禍において、集う機会が減っている同世代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ③閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュする機会とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の3歳から小学校低学年の保護者 10組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/29（土） 13:00～14:00	地元の絵本作家の紙芝居を披露し知ってもらう	講義 実技	講師 たこさんのおはなしや 田子 智代 協力者 TSUTAYABOOKS TOREアクエル前橋 NPO法人 はじめの一步 高校生学習室利用者	7

(4) 評価と反省

前橋市出身の絵本作家野村たかあきさんの紙芝居を披露し、市民に知ってもらい楽しんでいただく機会として、TSUTAYABOOKSTOREアクエル前橋で開催した。

参加者は7名と少なかったが、演目に「焼きまんじゅうろう旅すがた」の紙芝居を前橋市で初お披露目とのことで、焼きまんじゅうのキッチンカーにも来ていただき、美味しい香りがするなかで紙芝居ができた。



講座会場の様子

子どもに多い事故の予防と手当

(1) ねらい

乳幼児の子どもをもつ保護者を対象に、幼児の安全法を学び、望ましい育児や生活環境のあり方についての理解と実践化を図り、家庭教育の向上に資する。

(2) 対象等

対象：市内在住の2歳から5才ごろまでの子どもの保護者 15名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	11/17 (木) 10:00~11:30	緊急時の対処法、幼児の心肺蘇生(CPR)とAEDの使い方を学ぶ	講義 実技	日本赤十字社群 馬県支部 赤十字 幼児安全指導員	7

(4) 評価と反省

子どもの心肺蘇生の仕方やAEDの使い方は、大人と同じでいいのか知っていただくため本講座を設定した。

申込み人数が9名と少なかったうえにキャンセルや当日の欠席が出て参加者が7名となったが、かえって少人数だったので実技などやりやすくなり参加者にも満足してもらえた。



講座会場の様子



人工呼吸を行う参加者

抱っこでエクササイズ

(1) ねらい

- ①出来る限りの感染対策を実施し、保護者や養育者などの関係者が学べる機会を提供する。
- ②コロナ禍において、集う機会が減っている同世代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ③閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュする機会とする。

(2) 対象

市内の首の座った赤ちゃんとその保護者 10組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	11/24 (木) 10:00~11:30	子どもとスキンシップをとりながら、子育て中の保護者の心身をリフレッシュするエクササイズ	講義 実技	フィットネストレーナー 桑原 一美	18

(4) 評価と反省

産後の不調を感じているお母さんにリフレッシュしてもらう機会を作る為、本講座を設定した。

赤ちゃんを抱っこ紐で抱っこしながらのエクササイズで、思ったよりもきついエクササイズにも関わらず皆、楽しそうに参加していた。後半にヨガもあり、自分の体を見直すいい機会になったのではと思った。



講師も抱っこ紐で



赤ちゃんともヨガ

グラマに聞く！アメリカ流子育てと初めての英語

(1) ねらい

- ①出来る限りの感染対策を実施し、保護者や養育者などの関係者が学べる機会を提供する。
- ②コロナ禍において、集う機会が減っている同世代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ③閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュする機会とする。

(2) 対象等

対象：前橋市の1歳から3歳までのお子さんと母親 10組
前橋市ボランティア連絡会の協力をいただき、託児保育を実施

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	12/7 (水) 10:00~11:30	「子育てを楽しみましょう」 日米の子育ての違いなどをお話する 「母と子の初めての英語」	講義	講師 明寿大学英語クラブ 講師 竹澤 泰子 協力者	8組 16

2	12/14 (水) 10:00~11:30	英語での絵本の読み聞かせ や、英語の歌を一緒に歌う		前橋ボランティア連絡 会	6組 12
---	--------------------------	------------------------------	--	-----------------	----------

(4) 評価と反省

本講座は2年ぶりの託児付き講座となった。

託児協力していただいた前橋ボランティア連絡協議会も久々の託児となったが子どもへの対応が上手く、落ち着いて保護者を待つ姿が見られた。

講座内容は、前半はアメリカと日本の子育ての違いとアメリカ生活の話。後半は託児の部屋に移り、子どもと託児ボランティアも交えて、英語の絵本の読み聞かせと、英語の歌を全員で歌った。

2回目は、前回の内容の復習とクリスマスが近かったのでクリスマスにまつわる話や歌を教えてもらった。

参加者の感想で、「子どもを預かって頂き、ゆっくりしっかり話をこくことができた」「人生経験豊富な先生のお言葉はとても参考になった」等、満足感ある感想が得られた。



講師の話



英語での絵本の読み聞かせ等

2 上川淵公民館

上川淵・下川淵・東合同親子の絆づくりプログラム

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子（令和4年2月25日～6月24日生まれ）とその
母親 10組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	8/24 (水) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	子育て 支援課 BPファ シリテ ーター	10
2	8/31 (水) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			10
3	9/7 (水) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			10
4	9/14 (水) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			10

(4) 評価と反省

今年度は下川淵公民館を会場として開催。

4回連続のプログラムを通して、はじめて子育てをする人はみな同じような悩みを持つことを知り、孤独感を減らす取り組みとなった。

今回の講座が、新しい友達作りのきっかけの場となったようで、上川淵公民館で開催した別の講座と一緒に参加する姿が見られた。

すくすくクラブ@ファミリー①「ジェンダーって何？」

(1) ねらい

- ①保護者が安心して学習ができる機会を提供する。
- ②子育てにおける不安の解消やリフレッシュの場とする。
- ③違いを認め合う社会について学び、社会的問題を考える。

(2) 対象等

対象：市内在住で未就学児とその親 6組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/30 (木) 10:00~11:00	「ジェンダーって何？」 違いを認め合う社会へ	講義	男女共同参画セン ター職員	4

(4) 評価と反省

昨年度、コロナで中止になった同講座を、参加予定の方からの強い希望で

年度を変えて実施。ジェンダーについて学ぶ機運が高まっていると感じ企画したが、少ない人数での開催となってしまった。

固定的な性別役割分担意識にとらわれない子育てを学ぶことは多様性を認め合うことにもつながり重要なことだと考えるため、今後も講座を企画し啓発に努めたい。



紙芝居を交えた講話の様子



車座になったの学び

すくすくクラブ@ファミリー②「はじめてのキャンプ講座」

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②自然の中で活動することで、気象・寝食・人との関わりなどの大切さを知る機会とする。
- ③キャンプの知識は災害時に活かすことができることから、その基本を学ぶことで、地域で活躍できる人材を育成する。

(2) 対象等

対象：市内在住の子とその保護者 8組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	7/30(土) 13:00~15:00	初めてのキャンプ講座	講義 実技	日本オートキャンプ インストラクター 柳田 健治 貝之瀬 賢人	12

(4) 評価と反省

日本オートキャンプ協会より推薦された2名を講師に迎え、本格的なキャンプ道具の数々を並べながら講話いただいた。

講座終了後も全員残って積極的に質問し、実際に道具に触れて使い方を聞くなど、親子で楽しんでいる様子が見られた。

防災に活かせるキャンプのコツなども内容に取り入れ、災害時に活躍できる人材育成の一端を担うことができたと考える。

子育て支援講座の男性参加率を上げるためにも、男性に興味のある内容を絞り開催することが必要だと感じた。



講師による説明



参加者の様子

すくすくクラブ@ファミリー③「ソーラークッカー体験教室」

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②自然エネルギーについて学習し、限りある資源に目を向ける機会とする。
- ③親子でSDG'sについて学ぶ。

(2) 対象等

対象：市内在住で小学生の子とその保護者 8組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/6（土） 10:00～11:30	自由研究にチャレンジ！ ソーラークッカー体験教室	講義	エコ食楽部 （公民館利用団体）	17

(4) 評価と反省

太陽の力を使い調理するソーラークッカーを体験する予定であったが、当日は曇りとなってしまったため、館内での講話に変更して行った。

講師が天候不良に備えて準備を行っていたため、事前に撮影した画像を用いての説明や、エコクイズなど工夫を凝らした内容となったことから、参加した子どもたちも分かりやすいようだった。

講座後には、家でチャレンジしてみたいなどの感想もあり、夏休み中の親子にとって、良い体験になったと考える。



ソーラークッカー



調理実習室でのエコ調理説明

すくすくクラブ@ファミリー④「おいしいキャンプ講座」

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②非日常の中で活用できる安全な調理法を学び、災害時に活かすことができる人材を育てる。
- ③男女問わず調理に携わるきっかけづくりの場とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の子（3歳以上）とその保護者 8組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	9/4（日） 13:30～15:00	キャンプ講座第二弾 おいしいキャンプ講座	講義 実技	日本オートキャンプ インストラクター 上川淵公民館職員	13

(4) 評価と反省

災害時にも応用できる簡単な調理方法や、自然を守りつつ楽しむために知っておきたいキャンプでの現状や問題点を、クイズを交えながら学んだ。

テントを立てる実技では、未経験者にも簡単に立てられることがわかり、キャンプのハードルが下がったという声を聞くことができた。

親子で一緒に自然活動を学ぶ機会は、子どもの情操教育に大事だと考えるため、次年度も企画していきたい。



会場の様子



道具を使って簡単調理

すくすくクラブ@ファミリー⑤「おいしい秋をつかみ取れ」

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②地域の方々との世代間交流を図る。
- ③さつま芋の収穫を通して、食べ物の大切を学ぶ機会とする。

(2) 対象等

対象：市内在住で小学生以下の子とその親 10組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/15 (土) 9:00~11:00	さつま芋収穫チャレンジ ほっこりとおいしい秋を つかみ取れ	実技	地域づくり協議会 食育部会	25

(4) 評価と反省

地域づくり協議会食育部会のさつま芋収穫に合わせ、子育て支援事業として、小学生以下の子とその保護者を対象に開催したもの。

申込開始早々に定員になり、子育て世帯から需要のある内容であることが分かった。

芋掘りだけではなく、畑に生息する昆虫や爬虫類と触れ合うことで、子どもたちにとって自然体験学習の場となっていた。

地域づくり協議会食育部会のサポーターさんとの世代間交流を図ることができる本講座を、今後も継続していきたい。



親子で芋掘り



畑の様子

すくすくクラブ@ファミリー⑥「抱っこひもでエクササイズ」

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②子育てにおける不安の解消やリフレッシュの場とする。
- ③同年齢の子を持つ親同士で交流を図り、孤独感を和らげる。

(2) 対象等

対象：市内在住で一歳未満の子とその保護者 8組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/31（月） 10:00～11:30	抱っこひもでエクササイズ	実技	フィットネスインストラクター 桑原 一美	16

(4) 評価と反省

生活の中に簡単に取り入れられるエクササイズとして本講座を企画。

運動の合間に講師の子育て体験談などを交え、ハードになり過ぎないように配慮しながら進めたことで、子どもと一緒に手軽に行える内容だったと、参加者からは高い評価を得ることができた。。

運動を取り入れた講座を希望するアンケート結果が多いことから、次年度も同様に開催していきたい。



講師による指導



講座の様子

すくすくクラブ@ファミリー⑦「家族の後ろ姿写真展」

(1) ねらい

- ①写真を撮ることにより、地域の良さを発見する機会とする。
- ②普段公民館に縁のない方々が来館するきっかけづくりの場とする。
- ③地域との繋がりをを持たせることで、孤立する親子をなくす。

(2) 対象等

対象：市内在住勤務の方ならどなたでも可
周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	人数
1	2/1(水)～2/19(日) 各日終日	家族の後ろ姿写真展 ～上川淵で思い出を撮ろう～	展示	11

(4) 評価と反省

昨年度も同様に開催し好評だった「後ろ姿」限定の写真展を今年度も実施したものの。

前回のアンケートに、大きいサイズの写真もあった方が良いとの意見があったことから、今年度はサイズ指定を行わずに募集を行った。

来館した人の心を温められるようなほのぼのとした作品が多く、アンケートでも良い評価をいただくことができたが、写真の管理が難しいなど課題が多いことから、次年度の開催については一考したい。



展示の様子

すくすくクラブ@ファミリー⑧「バレンタインクッキング教室」

(1) ねらい

- ①保護者が安心して子どもを連れて学習ができる機会を提供する。
- ②親子のふれあいを深め、食育について考える。
- ③子育てにおける不安の解消やリフレッシュの場とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の3歳以上の子とその保護者 6組 (親のみの参加可)
周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
---	-------	---------	------	--------------	----

1	2/10 (金) 10:00~11:30	バレンタインクッキング 教室	実技	エコ食楽部	7
---	-------------------------	-------------------	----	-------	---

(4) 評価と反省

バレンタインのプレゼントとなるようトリュフチョコ作りを行ったが、親子連れの方にも簡単に作れるようなレシピとなっていたため、問題なく取り組むことができた。

講師との打合せで参加者を3歳以上の子と保護者と定めたが、3歳以上の子は保育園や幼稚園に行く年齢となっており、平日の参加は難しく、ほとんどが親のみの参加となってしまった。親子での調理実習を開催する際は、働く方も参加しやすいように土日開催にするか、レシピを簡単にし対象年齢を下げたい。



講師による指導



親子での調理の様子

すくすくクラブ@ファミリー⑨「ホワイトデークッキング教室」

(1) ねらい

- ①保護者が安心して子どもを連れて学習ができる機会を提供する。
- ②親子のふれあいを深め、食育について考える。
- ③父親の育児参加を促進するための機会とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の3歳以上の子とその保護者 4組 (親のみの参加可)

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	3/11 (土) 13:30~15:00	ホワイトデークッキング 教室	実技	料理研究家 笛木 京子	12

(4) 評価と反省

男性を対象にしたクッキング講座を企画したが、男性限定での申し込みであると参加者を集めることが難しいと判断して、対象者を子育て中の保護者としたところ、2名の男性にお申込みいただくことができた。(当日1名欠席)

親子でパウンドケーキを作る内容であったが、基本的に混ぜるのみの工程であったため、簡単に作ることができていた。

積極的に調理や洗い物をする子が多く、親子のふれあいの良い機会となったと考える。

反省点として、調理工程を子どもにイメージしやすい工夫が足りなかったため、今後は講師からいただいたレシピをそのまま使用するのではなく、写真やイラストを取り入れて分かりやすい資料作りを行うなど、子どもの目線での講座運営を行いたい。



講師による指導の様子



家族での参加

パートナーシップ事業・産後ケア

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを深める。
- ②参加者同士交流を深め、地域コミュニティ作りの支援の場とする。
- ③まえばし市民提案型パートナーシップ採択事業「Cored woman project」の協働事業として実施し、公民館事業としての相乗効果を図る。

(2) 対象等

対象：市内在住の2か月～8か月未満の子とその保護者 6組

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/13(金) 10:00～12:00	バランスボールエクササイズとおしゃべりママサロン	実技	上州mamato 峰岸 圭衣 石井 尚子	8

2	1/20 (金) 10:00~12:00	バランスボールエクササイズとおしゃべりママサロン	実技	上州mamato 峰岸 圭衣 石井 尚子	8
3	1/29 (日) 10:00~12:00	夫婦参加型講座	実技	上州mamato 峰岸 圭衣 石井 尚子	12

(4) 評価と反省

前橋市パートナーシップ事業として開催したもの。

エクササイズと話し合う時間がちょうどいい配分で行われており、参加者にも負担のない内容だった。

子どもを育てながらでも外に出て学習する楽しさを知っていただくために、授乳やおむつ替えなど、不安なことがないようにサポートすることに努めた。

3回連続の講座を通して仲良くなった母親同士が、連絡先を交換している様子が見られることから、コロナで控えていた連続講座を、次年度は小規模ながらも再開させていきたい。



講師による指導の様子



2人一組での話し合い



夫婦での話し合い



全員で記念撮影

子育て支援講座「地域の子を孫のように支えるために」

(1) ねらい

- ①子育てに悩む親世代を地域で支える。
- ②今と昔の子育ての違いを学ぶ。
- ③女性が安心して働くことができる環境を作る手助けとして、祖父母世代の学びの場とする。

(2) 対象等

対象：地域住民、上川淵地区ボランティア連絡会、上川淵地区民生委員児童委員連絡協議会、上川淵地区保健推進委員 20名

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/14（水） 10:00～11:30	地域の子を孫のように支えるために ～今と昔の子育ての違いを学ぶ～	実技	前橋市幼児教育アドバイザー 塩崎 政江	7

(4) 評価と反省

前教育長の塩崎幼児教育アドバイザーを講師に迎え、今と昔の子育ての違いを学習主題とした。

地域の人たちと触れ合うことで子どもは社会性が育ち、親は子育ての負担やストレスが軽減され、地域は子どもから元気をもらい新たな生きがいになるなど、それぞれの良い点をお話いただいた。

子どもとの触れ合いの中で活用できるように、簡単なおもちゃ作りも行いながら、参加者は新しい子育ての仕方について熱心に質問していた。

子育て支援講座として、地区内の各団体にも参加を呼びかけたものの、多くの参加者を集めることができなかった。

コロナ禍で開催を控えていたが、次年度は各団体と相談の上、参加者の募集を進めていきたい。



講座の様子



質疑応答

3 下川淵公民館

バランスボールエクササイズ&おしゃべりママサロン

(1) ねらい

- ①コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ②閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュし、自らのキャリアについて考える機会とする。
- ③地域の方に講師を依頼し、地域人材の育成と地域住民との交流を図る。

(2) 対象等

対象：第一回・第二回 2か月～8か月未満の子と母親

第三回 2か月～8か月未満の子と父母

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	配信日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/22 (水) 10:00～12:00	バランスボールエクササイズ (60分) おしゃべりママサロン (60分)	実習	上州 mamato 峰岸 圭衣	4組 8人
2	6/29 (水) 10:00～12:00				4組 8人
3	7/9 (土) 10:00～12:00				3組 9人

(4) 評価と反省

参加者が全員下川淵地区出身・在住であり、月齢も2ヶ月～6か月と近いことから、最初は緊張していた様子の参加者も、回数を重ねるごとに次第にリラックスすることができ、終盤には和気あいあいと会話を楽しむ様子も見受けられた。

前半のバランスボールエクササイズでは、体を動かすことに慣れていないことや、バランスボールそのものに慣れていないことから、あまり思うように運動できない参加者もいたが、徐々に汗をかくことができうれしかったという意見があった。二回目、三回目となると、バランスボールに乗りながら子どもをあやすなど、親子参加型の講座へ順応してきた様子がうかがえた。後半のおしゃべりママサロンは、「人生」「仕事」「パートナーシップ」というテーマから一つ選択し、子供ではなく自分を主語にして話すという体験をすることで、日ごろ育児に追われて自分のことについて考えたり言語化したりする機会が少ない保護者が自分自身と向き合う貴重な機会を創出できたと感じる。

第三回の講座では、前回までの講座で行ったことと同じ内容を夫婦でそろって行うという内容で実施した。最初は初参加の父親は緊張していたが、体を動かすうちに緊張もほぐれ、後半のおしゃべりママサロンもスムーズに進行した。

講座終了後には、父親同士の交流もあり、自然発生的に講座参加者同士のLINEグループを作る流れも見受けられたため、なかなか知り合うことのできない子育て世代の地域の輪を広げるきっかけになったと感じている。どうしても対象の年齢が限られてしまう性質がある内容の講座だが、今後も定期的に保護者同士のつながりを創出できる機会を設けたいと思う。



バランスボールエクササイズの様子



おしゃべりママサロンの様子

下川淵地区民生委員児童委員協議会タブレット研修

(1) ねらい

- ①下川淵地区の民生委員児童委員協議会（以下民児協）が、対面のみによらない、地域とのつながり・支援を増進するための技術を習得する。
- ②高齢化の進む地区民児協のデジタルディバイドを解消する。
- ③地区民児協との連携を図り、地区の子育て親子支援事業の協力体制を構築する。

(2) 対象等

対象：下川淵地区民生委員児童委員協議会

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ、

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/1（月） 13:30～15:30	タブレット研修	実習	下川淵公民館職員 渡根木 優子	5
2	8/9（火） 13:30～15:30		実習		8
3	8/17（水） 13:30～15:30		実習		10
4	8/18（木） 13:30～15:30		実習		7

(4) 評価と反省

地区民生委員児童委員協議会（以下民児協）の会長からの依頼で、各町の民生委員児童委員に配布しているタブレットの基本的な使用方法を教えてほしいとのことで今回の事業を実施した。昨年度末に民児協でタブレットを購入した際、初期設定等の助言を行ったことから今回の支援につながったものである。民児協の構成員は50代以上の方が多く、タブレットの操作等には不慣れなことから、初歩的な操作方法等を教示することで、タブレットそのものに慣れてもらい、ゆくゆくは実際の民児協の活動に役立ててもらうことで地区の子育て支援体制が増強されることを期待している。

地区民児協は12月から新体制となるため、新たに民生委員児童委員になる人については、今年度中に改めて研修を実施する。民児協の定例会をオンラインで実施したり、資料の確認をタブレット上で行ったりできるような土台を構築できるよう、引き続ききめ細やかなフォローが求められることと思うが、その都度各民生委員児童委員の実情に合わせて対応していきたい。

つくろう！あそぼう！バルーンアート

（1）ねらい

- ①コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ②親子で一緒にものづくり体験をすることによって、親子のコミュニケーションを深める機会とする。

（2）対象等

対象：未就学児親子 10組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/7（日） 10:00～11:30	バルーンアート作り	実習	それいけ！まえばし 出前講座 講師 新井 弘子	5組 11人

（4）評価と反省

体調不良のため大事をとって欠席した親子が多く、少人数での実施となったため、講師がきめ細やかに目を配ることができ、それぞれの質問等にも熱心に対応していた。

どの親子も子どもの自主性を尊重し、なるべく自分でやりたいという子どもの希望を叶えるべく、極力手を出さずに自分でやらせてあげていた光景が印象的であった。当初の予定より講座の実施時間が延長となったが、参加者は皆満足そうで、講座の最後には、講師が見本として持ってきた様々なバル

ーンをお土産として持って帰る笑顔の子どもたちの姿を見ることができた。

アンケート中では親子で一緒にできる体験、家でもできる遊び、を求める声もあったため、今後の講座企画の際にはこれらの生の声を参考にしていきたい。



バルーンアート作りの様子



お土産のバルーンアート

はじめてのヴァイオリン体験&ミニ音楽会

(1) ねらい

- ①日常生活でなじみの薄いヴァイオリンという楽器に直に触れることで、子どもの多様なものへの興味関心を引き出す。
- ②親子で体験を共有し、芸術を身近に感じるきっかけとする。
- ③地域の方に講師を依頼し、地域人材の育成と地域住民との交流を図る。

(2) 対象等

対象：3歳から中学3年生までの子と親 10組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/7(日) 14:00~16:00	・ヴァイオリン体験 ・ミニ音楽会	実習	山谷 美歌	7組 16人

(4) 評価と反省

親子で体験できる講座の一環として、初めて楽器体験を行った。ミニ演奏では、参加者の年齢に合わせた手あそび歌の演奏があり、一緒に歌ったり手を動かしたりして空気をあたためたうえで、〇×クイズや演奏体験に移行することができ、子どもたちはのびのびと活動することができた。

未就学児は道具の扱い等に不慣れであるため、大人の助けが必要であったが、参加者同士声をかけあい、それぞれの子どもの取り組みを見守るというほほえましい光景もあり、終盤では保護者もヴァイオリンを弾いてみる時間もあり、子どもと一緒に夢中になって演奏に没頭している様子も見られた。親子共に新しい体験をできること、達成感を味わえることは子どもの成長に

も思い出作りにも一役買ったのではないかと考える。



親子でヴァイオリン体験



ミニ演奏会の様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた！”「ベビープログラム(愛称:BP)

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 対象等

対象：市内在住で2ヶ月から5か月の第一子（令和4年2月25日～令和4年6月24日生）とその母親 10組

周知方法：地区内（下川淵・上川淵・東）へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	8/24（水） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実習	前橋市子育て支援課 BPファシリテーター	10組 20人
2	8/31（水） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える	講義 実習		10組 20人
3	9/7（水） 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防	講義 実習		10組 20人

4	9/14 (水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に赤ちゃんも大切に	講義 実習		10組 20人
---	-------------------------	---	----------	--	------------

(4) 評価と反省

過去2年間は新型コロナウイルスの感染拡大により事業そのものが実施できず、BPとしては3年ぶりの開催となった。参加者は保健師による訪問の際に本事業を知った人が多く、清里公民館で行われたBPの先着から漏れてしまった人による申し込みが多かったため、元総社地区や総社地区の参加者が多かった。最初は緊張していた人が多く、グループワークの際にもなかなか会話が弾まない部分もあったが、全4回の講座を通して、母子ともにリラックスしていく様子が目に見えてわかり、連続講座の重要性を感じた。

全4回にわたる自己紹介、DVD視聴、グループワークを経て、参加者同士の仲が深まるとともに、初めて子育てする親の悩みを共有したり、アドバイスをもらえたりと有意義な時間が過ごせたようだった。BPファシリテーターによる本講座は講義ではなく、あくまで自分で考え、自分の言葉で話すものであり、子育てに追われる日々の中ではこのような機会を捻出することが難しいため、自分の今と向き合う貴重な経験になったのではないかと感じる。最終日には参加者全員のLINEグループもでき、今後も積極的に交流を続けるきっかけになったようだった。



自己紹介



グループワークの様子

GO!GO!子育てサロン～親子で一緒に映画とよみきかせを楽しもう！～

(1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②地区子育てサロンとの連携実施による地域交流と子育てサロンの周知を図る。

③親子が周囲を気にすることなくのびのびと過ごせる環境を提供し、映画と読み聞かせ体験を楽しんでもらう。

(2) 対象等

対象：未就学児親子 10組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	8/25 (木) 10:00~11:30	・DVD 上映 ・絵本のよみきかせ	実習	おはなしの会もこもこ 下川淵地区子育てサロン	8組 17人

(4) 評価と反省

地区子育てサロンとの協働事業として本講座を開催した。市ホームページ等でも講座を周知したおかげで、参加者の多くは子育てサロン初参加であったため、地区内外の子育て中の方に広く子育てサロンの存在を周知することができた。また、普段和室で行っている子育てサロンを大きいホールで実施できたことで、子ども達はのびのびと過ごすことができた。

夏休み特別版の子育てサロンということで、通常の子育てサロンでは行っていない大画面の映画上映を行ったが、音声にノイズが入ってしまい聞き苦しい部分もあったため、今後実施する際は音響チェックを入念に行う必要があると感じた。よみきかせは、日ごろから地区子育てサロンでよみきかせを行っているおはなしの会もこもこという団体の協力を得ることができ、通常によみきかせだけではなく手あそび歌の人形劇も実施してくれた。子ども達は、一緒に歌ったり、元気に質問に答えたりしながら楽しそうに聞き入っていた。



映画鑑賞の様子



よみきかせの様子

親子リトミック教室

(1) ねらい

- ①コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。

②親子が心身ともにリフレッシュする機会とする。

③音楽に合わせて体を動かすリトミックを体験することで、子どもの情操教育の一助とする。

(2) 対象等

対象：第一回 3歳～5歳までの子どもと保護者 10組

第二回 0歳～2歳までの子どもと保護者 10組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/23(金) 10:30～11:30	親子リトミック	実習	山谷 美歌	9組 22人
2	9/29(木) 10:30～11:30	親子リトミック	実習	山谷 美歌	8組 17人

(4) 評価と反省

昨年度実施し好評だった親子リトミック教室を、今年度は地区在住の講師に依頼し、対象年齢別に回を分けて実施した。

子どもたちがのびのびと体を動かせるよう、ホールにジョイントマットを敷き詰めた。親子の数もちょうどよく、密になりすぎない環境で子ども達が初めて出会うおともだちと交流する様子も見られた。親子で一緒に体を動かしたり、歌ったりする場面が多かったが、今回参加した子どもたちは集中力が高く、講師の話したことをすぐに真似したり、元気に質問に答えたりして、終始楽しそうな雰囲気が伝わってきた。保護者からも、なかなか体を動かす機会がないのでうれしいとの声があった。体を動かすだけでなく、歌に合わせて記憶を鍛える遊びをしたり、やきいもやさんごっこをして想像力を伸ばす遊びをしたり、本物の秋の味覚に触れて肌で季節を感じたりと様々な面で子ども達の情操教育に役立つ内容だったと感じる。



リズムに合わせてハイタッチ



やきいもごっこの様子

親子で一緒に！子育てママのためのリフレッシュエアロ&ストレッチ

(1) ねらい

- ① コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ② 閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュする機会とする。
- ③ 地区子育てサロンとの連携を図り、地区の子育て支援体制の強化を図る。

(2) 対象等

対象：子育て中の保護者

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/27（木） 10:00～11:30	・リフレッシュエアロ ・ストレッチと筋トレ	実習	桑原 一美 下川淵地区子育てサロン	9組 19人

(4) 評価と反省

地区子育てサロン協力のもと、子育て中の母親を対象とした運動系の講座を行った。講師が親と子どもの状況に応じて、一人でも親子でも行うことができるプログラムを構成してくれたため、0歳から3歳までの様々な年齢の子どもを持つ親が参加し、のびのびと体を動かすことが出来たようだった。最初は会場に入ることを渋っていた子供も会場内に準備された子育てサロンのおもちゃを見て目を輝かせ、スタッフと一緒に楽しく遊んでいたため、改めて見守りの重要性を実感した。前もって、子どもが騒いでもお互い様であるということを出して募集をかけたため、当日は子どもがホールを走り回らないうちにぎやかな講座となったが、参加者は皆リラックスして楽しめたようだった。

講座参加者は9人で、申し込み直後に定員が埋まってしまったような状況だったため、育児中の母親が子供と一緒に気軽にかけられる気分転換の場所の必要性を痛感した。会場の広さを考えると定員数を拡大することもできるが、子どもの数が多くなった時のスタッフの見守り体制を再検討する必要があるため、さまざまなメリットデメリットを考慮しつつ、次回以降の講座実施の際に反省を生かしたい。



親子でエアロスタート



ストレッチの様子

クリスマスメモクリップオーナメント作り

(1) ねらい

- ①四季に合わせた行事を体験することで子どもの情操の発達を支援し、子どもが自分で考える力を育てる。
- ②子どもの成長に必要な活動を保護者とふれあいながら楽しく行い、親子の絆を深める。
- ③地域の方に講師を依頼し、地域人材の育成と交流を図る。

(2) 対象等

対象：5歳～小学6年生までの親子

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/10(土) 10:00～12:00	クリスマスメモクリップ オーナメント作り	実習	中澤 輝子	4組 9人

(4) 評価と反省

参加者に対して、事前に作成したいオーナメントの種類を聞き取り、講師が事前に材料をあらかじめ準備しておいてくれたおかげで、限られた時間の中でスムーズに作品作りに取り組むことができた。参加した親子はみな工作に興味関心が高く、親子で一緒にオーナメント作りに熱中する様子が見られた。

また、保護者は子どもの自主性を尊重し、できるだけ子ども自身に作業をさ

せていたため、保護者が子どもの様子に目を配れるよう親子での講座としたことは意義があったと感じる。

習い事や保護者の都合により、参加したいが日程が合わないという声もあったため、小さな規模であっても、定期的に親子が参加できるようなモノづくり体験の機会を創出していきたいと思う。



親子で一緒に取り組む様子



子どもの作業を見守る様子

子育てサロンでクリスマス

(1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②地区子育てサロンとの連携実施による地域交流を図る。
- ③地区子育てサロンの周知・利用者増加を目指すとともに、公民館が主催する子育て親子支援事業の参加者層のニーズを把握し、適切な子育て親子支援を提供するための情報を収集する。

(2) 対象等

対象：未就園児親子

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/22(木) 10:00~11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・人形劇 ・プレゼント ・記念撮影 	実習	民生委員児童委員協議会(下川淵子育てサロン) おはなしの会もこもこ	10組 24人
2	12/22(木) 11:00~12:00				8組 17人

(4) 評価と反省

例年、下川淵地区子育てサロンが開催しているクリスマス会で、昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルス感染予防の観点から、場所を広く使い、換気を徹底したうえで人数を限定した完全予約制という形を取り開催することになった。参加者の情報を把握する必要があることから、今年度も公民館が後援し、子育て親子支援事業として実施協力した。

ホールにジョイントマットを敷いて実施し、回数も2回に分けて行ったため、それぞれの親子がのびのびとクリスマス会を楽しむことができたようだった。実際の企画や運営は子育てサロンが担当し、公民館は参加者募集や会場設営、音響等の支援を行うに留まったが、地区団体とのかかわりを創出し、一体となって行事を運営することで、今後の公民館が主催する子育て親子支援事業への協力体制を構築することができたと感じる。継続的に事業を実施することで、地区内の子育ての輪が広がっていくと感じたため、今後も感染防止対策を実施したうえでさまざまな事業を実施していけると良いと思う。



人形劇を楽しむ様子



サンタさんからプレゼント

下川淵親子すくすく教室

(1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②親子で一緒に身体を動かし、子どもの特性に向き合う。
- ③生活の中に手軽にできる運動を取り入れることで、健康を増進する。

(2) 対象等

対象：一歳未満の子と保護者 8組

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
---	-------	---------	------	--------------	----

1	2/1 (水) 10:00~11:30	きらきら笑顔で親子遊び	実習	それいけ！まえばし 出前講座	7組 14人
2	2/8 (水) 10:00~11:30	親子のワクワク体操	実習	神尾 直子	5組 10人
3	2/16 (木) 10:00~11:30	抱っこひもエクササイズ	実習	桑原 一美	7組 15人

(4) 評価と反省

全三回の連続講座として実施し、初回は親子のふれあいと保護者同士の交流に重点を置き、二回目以降は親子のふれあいだけでなく、保護者自身のストレス発散やリラックスにつながるような内容で講座を行った。

第一回目は親子一対一のふれあい遊びから始まり、歌に合わせての自己紹介の時間も設けられていたので、子どもの遊びを通して保護者同士が交流するきっかけも生まれた。

第二回目は子どもと大人の学びが半分ずつになるような形で講座を企画したが、講師が参加者と子どもの様子を見ながら、行う運動の種類や負荷を考え進行していたため、前回に引き続き参加者の満足度は高かった。

第三回目は参加者が体を動かすことへの抵抗感がなくなっていたため、スムーズに音楽に合わせて全身運動を行うことができた。

講座終了後には参加者同士の交流などもあり、地域の交流の輪が広がるきっかけができた。様々な保護者・親子が学びと交流の機会を得ることができるよう



きらきら笑顔で親子遊びの様子



親子のワクワク体操の様子



抱っこひもエクササイズの様子

香りでリフレッシュ！手作りハンドクリーム作り

(1) ねらい

- ①コロナ禍において、集う機会が減っている同年代の子を持つ保護者同士の交流を促し、地域社会での仲間づくりのきっかけを作る。
- ②閉鎖的な空間で子育て中の保護者が心身ともにリフレッシュする機会とする。
- ③地区子育てサロンとの連携を図り、地区の子育て支援体制の強化を図る。

(2) 対象等

対象：子育て中の保護者 8人

周知方法：地区内へのチラシ回覧、館報、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	3/9（木） 10:00～11:30	ハンドクリーム作り	実習	アロマストーリー	8組 17人

(4) 評価と反省

子育て中の保護者が、子どもと一緒にあっても参加できる講座を企画したいと考え、下川淵地区子育てサロンに協力を依頼し、子育てサロンとの同日開催という形で講座を実施した。スタッフによる子どもの見守りがあったため、参加者は講師による成分による効能の違い等を熱心に聞いたり、自分の作業に集中したりすることができた。

小さな子どもを育てている保護者を対象とした講座の場合、子どもに焦点を当てた講座内容で実施することが多いが、見守りのスタッフがいることで実施できる講座の幅が広がると感じた。今後も、地区子育てサロンと連携を取りながら、地域ぐるみの子育てを支援できるよう様々な学習と交流の場を提供できるような講座を実施したい。



香りを試している様子



子育てサロンスタッフによる
子どもの見守り

4 芳賀公民館

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称BP) 南橘・芳賀・富士見合同開催

(1) ねらい

- ① 初めての子育てをしている母親を対象に開催し、交流・情報交換の場とする。
- ② 育児に対する不安を軽減する。
- ③ 乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子（令和3年11月12日～令和4年3月11日生まれ）を持つ母親とその子

(3) 内容

子育て支援課BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	日時	学習内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	5/11 (水) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママからの育児を知る	グループワーク	子育て支援課職員 BPファシリテーター	14人 (7組)
2	5/18 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			14人 (7組)
3	5/25 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			14人 (7組)

4	6/1 (水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に、赤ちゃんも大切に			14人 (7組)
---	------------------------	--	--	--	-------------

(4) 評価と反省

本講座は南橘、芳賀、富士見公民館の3館の合同事業として、南橘公民館を会場に実施した。新型コロナウイルス感染症予防のため3年ぶりの開催となった。月齢の近い子どもを持つ母親同士が仲良くなっていく様子が伺えた。4回の講座終了後はグループ化され、活動を行うこととなった。今後も引き続き、育児を楽しみリフレッシュできる時間が持てるのではないかと思われた。



第3回
グループで話し合っている様子



第4回
親子ふれあいタイム「抱っこを楽しむ」

おやこのじかんFORベビー

(1) ねらい

- ① 講座を通じて育児に必要な知識や技術を学び、子育て仲間を作り、子育てしやすい環境を作る。
- ② 親子遊び等を通し、ふれあうことで心豊かな親子関係を作る。
- ③ 子育ての不安やストレスを軽減する機会とする。

(2) 対象等

対象：首が座ってから1歳の誕生日を迎えるまでの赤ちゃんとその保護者
周知方法：公民館報、チラシ、HP等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	7/20 (水) 10:00~11:30	抱っこでエクササイズ	実技	マミーナボディメソッド ドインストラクター 峰岸 圭衣	14人 (7組)

2	7/28 (木) 10:00~11:30	ベビーヨガ	実技	ヨガインストラクター 中村 美穂 協力 内堀 実香	18人 (9組)
---	-------------------------	-------	----	------------------------------------	-------------

(4) 評価と反省

昨年度、対象を0歳～3歳までの子どもとして「おやこのじかん」を開催したが、参加者が少なかったため、今年度は0歳児のみと対象を絞り、「おやこのじかんFORベビー」とし、講座を開催した。その結果、参加希望者が増え、同じくらいの子どものを持つ親同士が親しくなるきっかけになったと思われる。

また、5月に南橋公民館で開催したベビープログラムのメンバーがグループ化し、今回参加となり、より親しくなるきっかけになったのではと思う。



第1回 抱っこでエクササイズ
(抱っこしてダンスの様子)



第2回 ベビーヨガ
(寝転んでのヨガの様子)

芳賀公民館館長の秘密の眼鏡を探せ！（芳賀地区周遊型謎解きゲーム）

(1) ねらい

- ① 新型コロナウイルス感染症予防により、親子での旅行や出かける機会を自粛している人も多いため、身近で楽しむ機会を提供する。また、戸外での親子単位での実施とし、感染の危険性が少なく開催する。
- ② 親子でいっしょに問題に取り組むことにより、親子の交流を図る。また、およそ1カ月半の期間を設け、参加日程を自由にすることにより、父親の育児参加を図る。
- ③ 地域の文化財などに触れ、地域への関心の向上を図る。

(2) 対象等

対象：市内在住の小学1年生から6年生までの子どもとその保護者

周知方法：タブレット配信（芳賀公民館半径4km圏内小学校）、公民館報、チラシ、HP等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者	人数
---	-------	---------	------	--------	----

1	9/28 (水) ～10/31 (月)	周遊型謎解きゲーム	体験	協力 図書館芳賀分館	107人 (40組) ※ゲームクリア者 105人 (40組)
---	---------------------------	-----------	----	---------------	--------------------------------------

(4) 評価と反省

人を集めずに親子が安心して楽しめる講座として昨年度から始めた周遊型謎解きゲームを今年度も開催した。

この企画は実施期間が長期間であったため、週末や都合の良い日に親子で楽しめることや他の参加者に気兼ねなく参加できることからか、父親が15人と多くの参加があった。また、40組の申込者全組がゲームをクリアすることとなり、昨年度ゲームクリア率が約8割であったことから、かなり上昇したことは良かったと思う。

アンケート結果からは子どもたちだけでなく保護者も謎解きを楽しんでいる様子が伺え、また参加したいという声も多く寄せられた。芳賀地区を知ってもらえる機会となったとも思われた。



館長の眼鏡のありかの地図
メールに添付されたクイズを解いて、地図を手に入れる



謎解きの1つ
QRコードを読み込むと、次の場所がわかる

クリスマスファミリーコンサート

(1) ねらい

- ①オーケストラによる生の音楽を聴くことにより、子どもたちへ音楽に親しむ機会を提供する。
- ②幼い子どもを連れての音楽鑑賞が難しい保護者へ楽しみやストレス軽減の機会とする。
- ③大学生の地域貢献の機会とする。

(2) 対象等

対象：市内在住の3歳～小学6年生までの子どもとその保護者

周知方法：タブレット配信（芳賀公民館半径4km圏内小学校）、公民館報、チラシ、HP等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/3(土) 10:00~11:00	子どものための初めてのオーケストラ	実技	群馬大学フィルハーモニックオーケストラ部	32人 (11組)

(4) 評価と反省

オーケストラによる生の音楽を聴く時間を子どもとその保護者に楽しんでもらうため、日頃、芳賀公民館を利用している群馬大学フィルハーモニックオーケストラ部に出演を依頼し開催した。

大学生たちはコロナの影響で発表の場が少なくなってしまったとのことで、今回の出演をよろこんで引き受けてくれたのは、ありがたかった。子どもたちも保護者もとても良かったという意見が多く寄せられたが、ホールの収容人数の関係で、多くの参加者を入れることができなかつたのが残念だった。4月から芳賀公民館の部屋利用人数が緩和の予定であるので、来年度はもう少し多くの子もたちを招いて、コンサートが開催できたらと思う。



コンサートの様子



コンサートの様子
学生がサンタの帽子を被っての
クリスマスの曲の演奏

「ちょっと気になる子」のサポート講座

(1) ねらい

- ① 発達障害やグレーゾーンの子もたちの困難さを知ることで理解を深め、子育て支援体制の充実を図る。
- ② 発達障害の子もたちの特性やそれに応じた具体的な支援方法を学ぶことによって、保護者及び保育をする人が楽しんで育児を行うことができるよう支援を図る。
- ③ 子育ての知識を深める。

(2) 対象等

対象：市内在住在勤の人

- ・発達障害やグレーゾーンの子どもを持つ保護者
- ・学童、幼稚園、保育園や放課後デイ等の支援員
- ・民生児童委員、保健推進員、地域ボランティアの会員等

周知方法：タブレット配信（市内全小学校）、公民館報、チラシ、HP等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/2（金） 10:00～12:00	ちょっと気になる子ども の理解と支援	講義	共愛学園前橋国際大学短期 大学部 教授 上原 篤彦	27人
2	12/9（金） 10:00～12:00	子どもを育てること 育てられること	講義		25人

(4) 評価と反省

発達障害やグレーゾーンの子どもたちの支援のための講座として昨年に引き続き、開催した。昨年度、上原先生の講座を1時間30分で開催したところ、もっと聞きたかったという意見が多く寄せられたため、今年度は2時間×2回の4時間で実施した。

今年度も申込段階からかなりの反響があり、90%以上が芳賀地区以外の保護者が占めた。また、昨年度参加した保護者、夫婦で参加している保護者もあり、必要性を感じた。質疑応答の時間では思ったほど質問は挙がらなかったが、講座終了後に講師への質問の列ができており、個別相談の場が必要であると思われた。

今回は第1回が支援者としての講義、第2回が父親としての講義であり、かなり心を打つものであった。療育や相談を出来る場の紹介もあり、保護者にとって、頼れる場があることを知ること、頼っていいのだと分かることが、これから子育てをする上での助けになっていけばと思う。



第1回 支援者としての講義



第2回 父親としての講義
服装は子どもがデザインしたパーカーを着用

5 桂萱公民館

わいわい子育てセミナー(前期)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：0歳から3歳児とその保護者（土日開催の回は父親等も参加）

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/5 (月) 10:00~11:30	はじめまして！わいわい親子遊び	実技	子育て支援課 こども発達支援センター	19
2	9/15 (木) 10:00~11:30	タイダイ染めでオリジナルTシャツづくり	実習	わいわい子育てセミナー運営委員	17
3	9/22 (木) 10:00~11:30	バルーンアートであそぼう	実習	新井 弘子	15
4	9/30 (金) 10:00~11:30	子どもに多い事故の予防と応急手当を学ぼう(子育てサロン萱の芽と合同開催)	講義	赤十字幼児安全法指導員 天田 豊人・ 子育てサロン萱の芽	10
5	10/3 (月) 10:00~11:30	人形劇と紙芝居	実技	桂萱読み聞かせの会 「はぐはぐ」	17
6	10/13 (木) 10:00~11:30	牛乳パックでお薬手帳ケースづくり+こどもの食事のはなし	実習 講義	吉野 芳江	16
7	10/16 (日) 10:00~11:30	親子でさつまいも堀り	実習	農畜産物直売所 「味菜」	27
8	10/31 (月) 10:00~11:30	えいごでハロウィン	実技	富澤 素直	17

※さつまいも堀りは、青少年体験・チャレンジ活動合同事業

(4) 評価と反省

公民館報で運営委員を募集したところ3名の運営委員が集まり、運営委員会で内容や方法を検討し開催に至った。前年同様1回のセミナーにする予定であったが、運営委員から多くの企画案が出たことや、毎年定員超過で参加できない人がいることから、前期と後期に分けて参加者を入れ替えて実施することになった。

第2回目では運営委員が講師となってTシャツのタイダイ染めを行ったり、第8回目ではハロウィンのお菓子の代わりに運営委員の手作りおもちゃを渡すなど、運営委員が積極的に参加していた様子が印象的だった。

第4回目は子育てサロン「萱の芽」と合同開催、第5回目は桂萱読み聞かせの会「はぐはぐ」に講師を依頼したことで、各団体の周知や交流にもつながった。



さつまいも堀りの様子



ハロウィンの様子

乳幼児期における発達障害の早期発見支援

(1) ねらい

- ①発達障害の特性等を学び、周囲の大人がどのように関わったらよいかを考える。
- ②発達障害の早期発見のための知識を得ることで、保護者の不安感を軽減する。
- ③子育て中の保護者のみでなく、一般市民を対象とすることで、発達障害の子どもの生きづらさ、その子どもを育てる保護者の困難さ等の理解を深め、子育て支援体制の充実を図る。

(2) 対象等

対象：希望者30人程度

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
---	-------	---------	------	-------------	----

1	10/8 (土) 10:00~11:30	発達障害の特性を学び、周囲の大人がどのように関わったらよいかを考える	講義	ぐんま医療福祉大学 教授 奥野 みどり	13
---	-------------------------	------------------------------------	----	---------------------------	----

(4) 評価と反省

幅広い世代に受講してもらい発達障害への理解を深めたいと、子育て中の保護者に限定せずに募集を行った結果、父母6人、祖母1人、教育関係者1人に参加していただいた。デリケートな内容であるため、個別相談の時間も設けてもらい、相談者からは「不安に思っていたことにアドバイスをいただき安心した」との声をいただいた。より多くの人に受講してもらえるよう周知方法を工夫する必要があると感じた。

わいわい子育てセミナー(後期)

(1) ねらい

- ①子育て世代の親たちが子育てに関する知識・技術を一緒に学び、交流することで、心の充実と子育ての視野を広げる機会とする。
- ②子育て世代の親たちがリフレッシュする時間を設けることで、子育てしやすい環境を作る。
- ③地域住民・団体と連携や交流を通して、子育ての不安や孤独感を和らげ、子育て世代が地域に参加する機会とする。

(2) 対象等

対象：0歳から3歳児とその保護者（土日開催の回は父親等も参加）

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/9 (水) 10:00~11:30	こどもに伝えていきたい“食育”教室	講義	健康増進課 管理栄養士	4
2	11/13 (日) 10:00~11:30	荻窪公園に集合！散策&小物づくり	実習	田子 智代	37
3	11/21 (月) 10:00~12:00	しめ縄飾りをつくろう	実習	北爪 麻衣子	13
4	12/3 (土) 10:00~11:30	【同時開催】パパと一緒にふれあい遊び／ママは別室で学習（子どもがすすんでできるお片付け講座）	実技 講義	共愛学園短期大学部 永井 真紀 整理収納アドバイザー 一 山田 千里	13

5	12/7 (水) 10:00～11:30	もうすぐクリスマス！ツリーをつくろう	実習	大矢 宏美	13
6	12/17 (土) 10:00～12:00	子どもと一緒にオリジナル時計づくり	実習	星野 弘	25
7	12/20 (火) 10:00～11:30	ベビーダンス《対象》首すわり～1歳半頃	実技	加藤 七恵	4
8	12/22 (木) 10:00～11:30	キッズベビーダンス《対象》1歳半～3歳	実技	加藤 七恵	8
9	1/13 (金) 10:00～11:30	フィンガーアートと手形足形で思い出づくり	実習	坂本 ゆきえ	17

(4) 評価と反省

運営委員より休日に家族で参加できる回があるといいという意見があったため、後期は3回休日に行う回を設けた。第4回目はパパと子どもがふれあい遊び、ママは別室で学習をするという講座を企画し、参加者からは「子どもが思いきりパパと遊べてよかった」「学習に集中できてよかった」と好評だった。

託児不可のため、作品づくりは安全に配慮しながら行った。途中泣き出してしまいうちもいたが、参加者同士で協力しながら楽しそうに作品を仕上げている様子から、リフレッシュできる時間の必要性を感じた。

今回は0～3歳児とその保護者として募集をしたが、子どもの年齢によってできることが異なることや、子どもの年齢が近い保護者が交流している様子から、次年度は子どもの年齢をさらに分けて実施してもよいと感じた。



荻窪公園での講座の様子



時計づくりの様子

6 東公民館

すくすくおやこスクール「前期」

(1) ねらい

- ①親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ②子育てをする親が子どもと一緒に運動する機会を作り、健康増進を図る。
- ③参加者同士が交流する時間を作り、保護者がリフレッシュする機会を設ける。

(2) 概要

対象：第1回 東地区在住の未就園児（月齢3か月以上の首がすわった子～1歳6か月までの子）とその保護者 15組

第2回 東地区在住の未就園児（1歳7か月～3歳未満の子）とその保護者 15組

広報：公民館報、チラシで募集

受講決定者：22組 44名

参加者：15組 30名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	6/6（月） 10:30～11:30	抱っこでエクササイズ	実技	マミーナボディメソッド ドインストラクター 峰岸 圭衣	11
2	6/13（月） 10:30～11:30	親子でピラティス	実技	マミーナボディメソッド ドインストラクター 峰岸 圭衣	4

(4) 評価と反省

第1回では、多くの参加者が子育て親子支援講座の受講が初めてだったが、打ち解けた様子でエクササイズを楽しんでいた。コロナ禍で外出や運動が思うようにできなかったため、体を動かす機会を得てリフレッシュできたようであった。講座終了後も講師の配慮で保護者どうしが交流と情報交換していた。抱っこでエクササイズは子どもと一緒に楽しめる運動なので、家庭でも繰り返しできると好評であった。

第2回講座では、子どもの成長に伴って親は体力を使うので今のうちから産後の身体の立て直しをすることや朝に胸を広げる動きをすると良い等、講師からアドバイスがあった。講師の指導が一人ずつ行き届き、参加者はピラティスの基礎を学べたようだった。子どもと一緒に運動できるプログラム構成となっており、家庭でも繰り返し楽しめ、親子の絆が深まると大変好評でアンケートの満足度も高かった。



抱っこエクササイズ



親子でピラティス

すくすくおやこスクール「中期」

(1) ねらい

- ①子育てに必要な知識を学習し、保護者の教育力を高める。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③参加者同士が交流する時間を作り、保護者がリフレッシュする機会を設ける。

(2) 概要

対象：第1回 東地区在住の未就園児（0～1歳6か月の子）とその保護者 15組

第2回 東地区在住の未就園児（0～3歳の子）とその保護者 15組

広報：公民館報、チラシで募集

受講決定者：24組 50名

参加者：23組 46名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	8/1（月） 10:00～11:00	離乳食のお話と子育て相談	講義	子育て支援課 管理栄養士、保健師	8
2	8/29（月） 10:00～12:00	手形足形アートづくりとふれあい遊び！	実技	Petapeta-art アドバイザー 坂本 ゆきえ	15

(4) 評価と反省

第1回目では、管理栄養士の話に熱心に耳を傾け、聞き入る様子が見受けられた。同じくらいの年齢の子を持つ親子が会える機会を設けられ、地域の子育て世代の交流ができ、参加者の日頃の育児ストレス解消につながった。

第2回目の講座では前半のふれあい遊びで参加者同士が打ち解けて和やかな雰囲気それぞれの親子が作品づくりを楽しんでいる様子であった。記念

になる作品を親子で楽しく作れたと好評であった



離乳食のお話と子育て相談



手形足形アートづくりとふれあい遊び

下川淵・上川淵・東 三館合同ベビープログラム

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 概要

対象：第一子（令和4年2月25日～6月24日生まれ）と母親 10組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	8/24（水） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て支援 課職員 BPファシリテーター	10
2	8/31（水） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			10
3	9/7（水） 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			10
4	9/14（水） 10:00～12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に赤ちゃんも大切に			10

(4) 評価と反省

三館合同開催のため省略（下川淵公民館資料参照）

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①子育て支援において必要な知識及び技術の習得。
- ②地域における子育て支援の実践活動の充実を図る。

(2) 概要

対象：保健推進員、民生・児童委員、主任児童委員

広報：保健推進員会及び民生委員・児童委員協議会の定例会で周知募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	8/24（水） 14:30～15:30	子どもに多い事故と予防について	講義	日本赤十字社 群馬県支部 川田 繁子	47
2	9/7（水） 14:30～15:30	子どもの育ちとかかわり方	講義	幼児教育アドバイザー 塩崎 政江	37

(4) 評価と反省

- ①「あずま子育てひろば」の担い手でもある民生・児童委員及び主任児童委員を対象に定例会後に実施した。講師から小さなお子さんは昨日できなかったことが今日できるようになるため一人で外に出て行方不明のなるケースもあるので、注意が必要とのアドバイスがあった。具体例をあげた講話はわかりやすく、地域の子育て世代へのアドバイスに役立つという意見もあり概ね好評であった。
- ②「あずま子育てひろば」の担い手である保健推進員を対象として定例会後実施した。本講座のために特別に構成したパワーポイント資料がとてもわかりやすかった。保健推進員の方々も熱心に聞き入り、マイクを向けると様々な話をされていたこともあり、講師と参加者の一体感のある講座となった。自己肯定感の持ちにくい現代社会の問題を浮き彫りにし、子育て世代の支援に向けた知恵と人を愛する心と優しさに触れられた講演であった。



子どもに多い事故と予防



子どもの育ちとかかわり方

すくすくおやこスクール「パパ・ママ講座」

(1) ねらい

- ①夫婦で講座に参加し、子育てについて学ぶことで夫婦の絆を深め、相互理解を促す。
- ②父親と子どものふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。
- ③母親の育児に関する不安やストレスの解消を図る。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者（父母） 15組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

受講決定者：8組 26名

参加者：5組 15名（父親5名 母親5名 子ども5名）

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
11/27（日） 10:00～ 11:00	パパ・ママ講座 パパとお子さんはリズム遊び ママは子育て井戸端会議	実技 講義	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸 前橋市幼児教育アドバイザー 田子 文子	5

(4) 評価と反省

父親と子ども向けのリズム遊びの講座では、絵本や楽器などを活用しながら父親と子供が一体となって体を動かしながら掛声を発し、元気に楽しそうに学んでいた。小さなお子さんたちの笑顔が印象的で、父親と子どもの愛情やきずなが感じられるひと時でした。

母親向けの講座「ママは子育て井戸端会議」は、子どもの困っているところではなく、良いところや様子を聞いて、プラスに変えていく力を大切にしていける。子どもが挑戦していく力は、保護者の支えが必要であり、心配ばかりすると怖気ついてしまう。失敗しても平気だよと見守ることが必要。講座に参加する親は情報収集が出来る人だと感じた。この講座を参考にさせていただき、自分も周りもプラスに変えていけるような方たちになってほしいと願います。



パパと子「リズム遊び♪」



ママは子育て井戸端会議

すくすくおやこスクール「後期」

(1) ねらい

- ①保護者の保育力を高めるため、親子のふれあい方や遊び方について学ぶ。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③本事業は東公民館と昌賢学園群馬医療福祉大学が連携して実施し、きめ細かな家庭教育の支援とその効果を一層高めることを目指す。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者 15組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

受講決定者：15組 31名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	1/23（月） 10:00～11:30	親子でふれあい遊びと絵本読み聞かせ	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	14
2	1/30（月） 10:00～11:30	親子で楽しく運動あそび！	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	11

(4) 評価と反省

第1回の絵本読み聞かせでは、講師の表情や身振り手振りもおもしろく、小さな子供もじっと絵本の方を見ていた。講師のアドバイスも交えながらテンポよくたくさん絵本を紹介していただいた。ふれあい遊びでは子供を抱っこしたり膝に乗せたりして、子供も親も笑顔で楽しめている様子であった。今回ははいはいくらいの小さい子供が多かったが、ベテラン講師の講座にみんな夢中になって参加できている様子であった。

第2回では絵本の読み聞かせを交えながら、手や体を動かす遊びを実施していただいた。子供は座ったり寝転がったり抱っこされた状態であったので、月

年齢の小さな子も楽しそうな様子であった。保護者も子供とふれあい、親子共に笑顔で講座に参加することが出来た。幅広い月齢の子がいるので、絵本のお片付けを手伝ってくれるお姉さんの真似をする子がいたり、お昼寝している子供を微笑ましく見ている子がいたり、お互いに刺激を受けることも出来たようだ。



親子でふれあい遊びと絵本読み聞かせ



親子で楽しく運動あそび！

「産後ケア講座」

(1) ねらい

- ①エクササイズや対話の場と主体的な学びの機会を提供する。
- ②参加者同士の交流を深めることで、地域でのコミュニティ作りを支援する。
- ③まえばし市民提案型パートナーシップ採択事業「C o r e d w o m a n p r o j e c t」の協働事業として実施し、それぞれの強みを活かすことで、公民館事業としての相乗効果を図る。

(2) 概要

対象：①② 2か月～8か月未満の子と子の母親

③ 2か月～8か月未満の子と子の父母

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
3/3 (金) 10:00～12:00	バランスボールエクササイズとおしゃべりママサロン(第1回)	実技講義	上州m a m a t o 代表 峰岸 圭衣 石井 尚子	16
3/10 (金) 10:00～12:00	バランスボールエクササイズとおしゃべりママサロン(第2回)	実技講義	上州m a m a t o 代表 峰岸 圭衣 石井 尚子	20
3/19 (日) 10:00～12:00	夫婦参加型講座	実技講義	上州m a m a t o 代表 峰岸 圭衣 石井 尚子	20

(4) 評価と反省

エクササイズとおしゃべりサロンの二部構成で講師が交代で実施した。第1回、第2回の講座は母親と子ども向けの講座を実施した。母親にとって、自分のためにエクササイズしたり、自分の気持ちを話したりすることは、良いリフレッシュになったと思われる。バランスボールエクササイズは、子供を抱っこしても行うことが出来て、さらに弾む動きで寝てくれる子供もいたので、産後のエクササイズに向いていると感じた。おしゃべりサロンは、自分主体でたくさん話すことが出来て、産後に子供ばかりでこもりがちになってしまう母親にとって、気持ちを発散する良い機会であったと思われる。

第3回は夫婦参加型の講座で実施したが、夫婦で子どもの抱っこを交換したりしながら、協力して参加していた。おしゃべりパパママサロンでは、夫婦でペアになり、お互いに話すこと、聞くことがしっかりできている様子であった。講座で感じたことを共有する時間では、「夫婦で同じことを考えていることがわかった」等前向きな意見が出てきた。

講座終了後も残って話をしたり、連絡先を交換している様子が見られ、連続講座の効果もしっかりと感じられた。



バランスボールエクササイズ



おしゃべりパパママサロン

7 元総社公民館

元総社すこやか学級

(1) ねらい

- 1 子育てに関する学習を通して、
 - ①明るく心豊かな家庭を築こうとする意欲を高める。
 - ②育児における実践力を養う。
- 2 同年齢の子どもをもつ親同士の交流や講師、託児協力者との交流を通して、
 - ①子育てに対する不安や孤独感を和らげる。
 - ②それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。

(2) 対象等

対象：市内在住の未就園児（1～3歳未満）とその保護者

周知方法：館報へ掲載、地区内各所へチラシ配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	9/27（火） 10:00～11:30	たこさんとあそぼう！ ～読み聞かせと人形劇～	実技 交流	たこさんのおはなしや （前橋市読み聞かせグル ープ連絡協議会顧問） 田子 智代	8組
2	10/5（水） 10:00～11:30	きらきら笑顔で親子遊び		子育て支援課 子ども発 達支援センター 保育士 山崎 佐恵子 田中 真琴	7組
3	10/19（水） 10:00～11:30	親子リトミック		リトミック講師 飯塚 一美	5組

(4) 評価と反省

コロナウイルス感染拡大の影響により、回数を縮小して2年ぶりの開催となった。内容的には、託児を利用して母親の知識や教養を深められる講座も検討したが、コロナがまだ収束していないことを鑑み、各回とも親子一緒に触れ合いながら楽しめるものを企画した。

定員には満たなかったが、少人数の講座となったため母親同士も打ち解けが早く、年齢が近い子ども同士では一緒に遊ぶ姿もみられた。今後は託児の利用再開を検討しつつ、アンケートの意見なども参考にし、より満足度の高い講座を開催できるよう工夫していきたい。



歌に合わせて行進
（きらきら笑顔で親子遊び）



読み聞かせと人形劇
（たこさんとあそぼう！）



みんなでジャンプ（親子リトミック）

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた”（ベビープログラム：略称BP）

（1）ねらい

- ①初めての子育てをする母親が、子育てに関する知識・技術について学習する。
- ②同じ月齢期の乳児を持つ母親同士が情報を共有し、交流することで子育ての不安を軽減し、お互いの子育てについて学び合う。

（2）対象等

対象：市内在住で2ヶ月から5ヶ月の第一子（令和3年12月25日～令和4年4月24日生）を育てている母親とその子（定員12組）

開催場所：清里公民館 第一・二和室

周知方法：①子育て支援課の事業（赤ちゃん訪問、健康相談等）を利用し対象者へチラシを配布。

②各公民館で、チラシを自治会回覧すると共に、公民館内にチラシを設置。

③申込み状況に応じ、各公民館報、ホームページへ掲載。

延べ参加者数：55組

（3）内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	6/24（金） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技 交流	子育て支援課BP ファシリテーター	14組
2	7/1（金） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			14組

3	7/8 (金) 10:00～12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			13組
4	7/15 (金) 10:00～12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			14組

(4) 評価と反省

例年通り清里公民館を会場として、元総社・総社・清里3館合同開催を行なった。グループになって意見交換をすることで、孤独になりがちなコロナ禍中の子育ての不安や悩みを共有できて、安心感を得られた母親が多かったようである。講座が終わっても交流を続けたい、という意見も聞かれたため、今後も継続して公民館を利用してもらえようサポートしていけたらと思う。

8 総社公民館

すくすく教室

(1) ねらい

- ①子どもの発達段階に応じた遊びや子育ての方法等を学ぶことにより、子育てについての認識及び親子の絆を深める。
- ②親同士の交流を通し、安心して子育てができる環境の充実を図る。
- ③保育園等各関係機関との連携を図る。

(2) 対象等

対象：1歳から未就園児とその保護者12組（大人12人、子ども12人）

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	7/19 (火) 10:30～11:30	手作りおもちゃでたのしよう！	実技 体験 交流	前橋市読み聞かせグループ連協 顧問 田子智代 副会長 牧裕子	8
2	7/26 (火) 10:30～11:30	ほめトレ！入門～ほめて育てるコミュニケーショントレーニング～（託児あり）	実技 体験 交流	子育て支援課 総社地区保健推進員会（託児）	中止
3	8/2 (火) 10:30～11:30	音遊びをしよう！	実技 体験 交流	中林 亜衣	中止

(4) 評価と反省

第2回、第3回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。第1回

は参加人数は少ないものの、一組一組の進行具合を確認しながら進められ、ゆったりとした雰囲気を実施することが出来た。



手形で絵を描く



ガチャ玉のおもちゃ

すくすく教室(クリスマスおはなし会)

(1) ねらい

①子どもの発達段階に応じた遊びや子育ての方法等を学ぶことにより、子育てについての認識及び親子の絆を深める。

②地区内各種団体との連携や交流を通し、地域で子どもを育てるという見守りの意識を高め、安心して子育てができる環境の充実を図る。

(2) 対象等

対象：市内のこどもとその保護者

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/10(土) 10:30~11:30	クリスマスおはなし会	実習 交流	総社読み聞かせの会 会長 阿久津 淳子 会員 6名	34

(4) 評価と反省

昨年に引き続き実施。休日開催のため父親や祖母も参加する様子が見られた。ホールを会場とし、事前受付無しの自由参加講座だったが、想定よりも多くの参加者が来館した。イベントが無くなり地域団体の活動の機会が減っているため、地区内団体とも積極的に連携していきたい。



手袋人形



パネルシアター

パパのための料理教室

(1) ねらい

- ①子育てに必要な情報提供を行い、親の育児能力を高める。
- ②親同士の交流を通し、安心して子育てができる環境の充実を図る。
- ③地区内各種団体との連携や交流を通し、地域で子どもを育てるという見守りの意識を高め、安心して子育てができる環境の充実を図る。

(2) 対象等

子育て中の父親、これから父親になる方

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	2/4 (土) 10:30~12:00	魚料理に挑戦しよう	実習 交流	総社地区食生活改善 推進委員会	中止

(4) 評価と反省

参加希望者が実施可能人数に達しなかったため中止。開催内容・対象について検討したい。

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP) 元総社・総社・清里合同開催

(1) ねらい

- ①初めての子育てをしている母親を対象に開催し、交流・情報交換の場とする。
- ②育児に対する不安を軽減する。
- ③乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 対象等

対象：第一子（2～5か月児）とその母親

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数

1	6/24 (金) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技	子育て支援課 B Pファシリ テーター	14
2	7/1 (金) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			13
3	7/8 (金) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			14
4	7/15 (金) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			14

(4) 評価と反省

コロナ禍で家に籠りがちのお母さんたちが仲間と繋がれたことで地震や安心感を得ていたようだった。講座により子どもとの関わり方にも変化が起き、良好な親子関係を築くきっかけ作りにもなった。

おはなし会支援

(1) ねらい

- ①地区内各種団体との連携や交流を通し、地域で子どもを育てるといふ見守りの意識を高め、安心して子育てができる環境の充実を図る。
- ②新型コロナウイルス禍において地区内団体に活動の場を提供するとともに、親子のふれあいに関する知識の醸成を図る。

(2) 対象等

前橋市内の親子

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	4/23 (土) 10:30~11:45	絵本の読み聞かせ (はらぺこあおむし、ふうとはなとたんぼぼ、くものすおやぶんとりものちょう、はないっばいになあれ)	実習 交流	総社読み聞かせの会	20
2	5/28 (土) 10:30~11:00	絵本の読み聞かせ (くまさんどこ、きつねとつみきそう、どうぶつたいじゅうそくてい、よくばりすぎたねこ)	実習 交流	総社読み聞かせの会	18

3	6/25 (土) 10:30~11:00	絵本の読み聞かせ (きいろいちょうちよ、こねこのしろちゃん、あしたうちにねこがくるの、おまえうまそうだな)	実習 交流	総社読み聞かせの会	25
4	7/23 (土) 10:30~11:00	絵本の読み聞かせ (いいからいいから、なつのいちにち、うみきりん、おめんです)	実習 交流	総社読み聞かせの会	20
5	8/27 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ (おばけだじよ、めっきらもっきらうんどん、おふろにいれて、うえきばちです)	実習 交流	総社読み聞かせの会	8
6	9/17 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ (コップ、もぐらバス、なしとりきょうだい、パパ、お月さまとって!)	実習 交流	総社読み聞かせの会	30
7	10/22 (土) 9:30~11:00	絵本の読み聞かせ (クレーンクレーン、むかでのおつかい、とこやにいったライオン、どうぶつしんちょうそくてい、手遊び)	実習 交流	総社読み聞かせの会	30
8	11/26 (土) 10:30~11:00	絵本の読み聞かせ (どうぞのいす、ネコヅメのよる、モチモチの木、ごちそう食べにきてください)	実習 交流	総社読み聞かせの会 NHK 伊崎都子	29
9	1/28 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ	実習 交流	総社読み聞かせの会	20
10	2/25 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ	実習 交流	総社読み聞かせの会	22
11	3/25 (土) 10:30~11:30	絵本の読み聞かせ	実習 交流	総社読み聞かせの会	20

(4) 評価と反省

総社読み聞かせの会が総社図書分館で行っていたおはなし会がコロナ禍において実施できなくなり、会からの相談を受け実施場所や備品の提供のため主催事業とした。自由参加の親子のほか総社保育園の園児なども参加し、2、3歳の小さな子供も熱心に読み聞かせを聞いている。もっとたくさん本を読んでほしいとお願いされることもあるそうで、ねらいである地区内団体と子どもたちの交流ができていると思われる。

9 南橋公民館

南橋すくすく子育て教室

(1) ねらい

- ①同年齢の子どもを持つ親子同士の仲間づくりを図る。
- ②親子共々、楽しみながら学習の機会を与える。
- ③本事業を行うことで、親子の新たな発見や可能性を引き出す。
- ④母親の育児に対するストレスを少しでも解消し、よりよい親子関係を築くためのサポートを行う。

(2) 概要

対象：市内在住の1才位～3才までの子とその保護者

募集方法：公民館報・チラシ・HP

延べ出席者数：親 62人 子 62人

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染予防として、人数を少なく設定したので、連続受講でなく単発の申込み方法をとった。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	10/12(水) 10:00～11:30	Sweet Mom (子育て楽しみましょう)	講義	法廷通訳、国際離婚調停員 竹澤 泰子	16
2	11/9(水) 10:00～12:00	Sweet Mom (母と子の初めての英語)	ふれあい 体験	法廷通訳、国際離婚調停員 竹澤 泰子	12
3	12/7(水) 10:00～11:30	子どもの救急学びませんか	体験	日本赤十字社 新井 典子	5
4	1/18(金) 10:00～12:00	見て！聞いて！日本の伝統 文化をもっと知って	体験	荒木 勲 田子 智代	12
5	2/15(木) 10:00～11:30	スマホで撮ろう子どもの成長、 子どもの笑顔	ふれあい 体験	寝相アート作家 宮沢 亮子	9
6	3/9(木) 10:00～12:00	抱っこして、ハグして体も 心もリフレッシュ	ふれあい	フィットネストレーナー 桑原 一美	8

(4) 評価と反省

アメリカと日本の子育ての違いについて学ぶ講座では、英語の歌やアメリカ流のふれあい遊びを通して文化や言語の違いに触れる経験ができた。

また、第4回目では、尺八・南京玉すだれなど日本の伝統芸能の披露があり、受講している親子だけでなくウクライナからの避難民の方々にも参加いただき、日本文化に触れるとともに異文化交流も同時にできる良い機会となった。

引き続き安全に配慮しながら親子・地域・文化交流を深める講座を開催していきたい。



尺八演奏を聴く参加者たち



子どもの救急処置を学ぶ

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP) 南橋・芳賀・富士見合同開催

(1) ねらい

- ①初めて子育てをしている母親を対象に開催し、交流・情報交換の場とする。
- ②育児に対する不安を軽減する。
- ③乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子（令和3年11月12日～令和4年3月11日生まれ）を持つ母親とその子8組

(3) 内容

子育て支援課BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	5/11(水) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママからの育児を知る	グループワーク	子育て支援課 BPファシリテーター	7
2	5/18(水) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			7

3	5/25(水) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			7
4	6/1(水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に、赤ちゃんも大切に			7

(4) 反省と評価

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止だったが、今年は南橋公民館を会場として開催することとなった。

参加者からは「家から出るきっかけになった」「とても良い時間が過ごせた」などの感想がアンケートにあり、満足度も高かった。

4回の講座で参加者同士の仲を深められたようで、『BP2022』として月1回の自主グループ活動を継続している。

10 清里公民館

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP) 元総社・総社・清里合同開催

(1) ねらい

- ①初めての子育てをする母親が、子育てに関する知識・技術について学習する。
- ②同じ月齢期の乳児を持つ母親同士が情報を共有し、交流することで子育ての不安を軽減し、お互いの子育てについて学び合う。

(2) 対象等

対象：第一子（2～5か月児）とその母親

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	6/24 (金) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技	子育て支援課 BPファシリ テーター	14
2	7/1 (金) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			13

3	7/8 (金) 10:00~12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			14
4	7/15 (金) 10:00~12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			14

(4) 評価と反省

12組募集のところ定員を超える14組の希望があり、すべて受け入れることになった。コロナ禍での定員を超える開催ということで健康状態チェックや手指消毒など注意した。参加者同士の交流が進みLINEグループも作っており、更に、清里公民館でグループ活動をするまでに発展できた、非常に有意義な講座となった。また、子育て支援課担当者や合同開催した公民館担当者と情報交換する良い機会となった。



「赤ちゃんの遊びと心の発達」の様子



「親になること」赤ちゃん集合写真

清里すくすく学級

(1) ねらい

- ①子育てに必要な情報提供を行い、親の育児能力を高める。
- ②参加者同士が交流を図り、親子と地域のつながりを作る。
- ③講座に参加することで、子育ての不安やストレスを軽減する機会とする。

(2) 対象等

対象：1～3：0歳から3歳児までの幼児とその保護者10組

4：0歳から5歳児までの幼児とその保護者10組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	組数
---	-------	---------	------	--------------	----

1	8/3 (水) 10:00~11:00	「開級式」/きらきら笑顔 で親子遊び	講義 実習	子育て支援課	8
2	8/8 (月) 10:00~11:30	バルーンアートで遊ぼう!	実習	群馬トヨペットバル ーンアートインスト ラクター	8
3	8/17 (水) 10:00~11:30	ひめトレ・ストレッチポール エクササイズ	講義 実習	ひめトレアドバイザー 吉田 夕香	8
4	8/27 (土) 10:00~12:30	親子で美味しくおやつ作り	実習	機能強化型認定栄養 ケア・ステーション 栄養まえばし 竹内 明美 高橋 みゆき	6

(4) 評価と反省

B P実施期間中に参加者募集をしていたので、B Pの参加者へ直接チラシを配布・告知したところ、申込をいただけた参加者があった。B Pで参加者とのコミュニケーションを深めることで参加者確保につなげることができたことは喜ばしい結果となった。

後半2回の講座では託児ボランティアにご協力頂き、参加者のリフレッシュに寄与できたとともに、コロナ禍で託児を伴う講座が減少していたところ、ボランティアの皆様からも喜びの声を聞くこともいただくことができ有意義な講座となった。



ひめトレストレッチポールエクササイズ



親子で美味しくおやつ作り

寝相アート写真を撮ろう!

(1) ねらい

- ①家庭では体験する機会が少ない学びを公民館が提供する。
- ②事業を通じて、地区公民館を身近な存在として感じてもらう機会とする。
- ③ライフステージに応じた記念写真を残し、家族の充実したコミュニケーションの機会を提供する。

(2) 対象等

対象：歩き始める前までの乳幼児とその保護者 6組

(3) 内容

回	配信日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	11/21(月) 10:00~12:00	寝相アート写真を撮ろう!	実技	寝相アート作家 みやざわりょうこ	6

(4) 評価と反省

昨年度も開催し好評だった講座を、今年度も入れ替え制で実施した。参加者の都合で、急な順番変更もあったが、トラブルなく進めることができた。乳幼児の記念写真を残すことは、子を持つ親の要望として、今後も需要があると思われるので、継続していきたい。



講座の様子

親子であそぶ ほのぼのひろば

(1) ねらい

- ①家庭では体験する機会が少ない学びを公民館が提供する。
- ②事業を通じて、地区公民館を身近な存在として感じてもらう機会とする。
- ③親子のふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。

(2) 対象等

対象：0歳から3歳までの乳幼児とその保護者 20名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/11(土) 10:30~11:30	楽しいお話会と人形劇、タオルでぬいぐるみを作って遊ぶ	実技	たこさんのおはなし 代表 田子 智代	24

(4) 評価と反省

日程について、新型コロナウイルス感染予防を考慮し、厳寒期を避け3月中旬に企画した。当初、定員を20名として募集したところ、キャンセル待ちを

含め25名の申し込みがあった。3月1日から清里公民館各部屋の利用人数制限を50%→80%に変更したので、最大32名まで収容できることから、キャンセル待ちも受け入れることとし、当日、24人の参加者で開催した。

今回の講座は、新年度を迎える前に、親子のふれあい遊びを通して絆を深めることを趣旨として期待していた父親の参加も3名あった。講師の田子先生の巧みな講座運営で参加者の満足度は、非常に高く、おすすめの絵本や図書館で借りられる旨の紹介もあり、貴重な情報提供もしていただけることから、次年度の講座メニューにもぜひ取り入れていきたい。



タオルでうさぎのぬいぐるみ作り



絵本の読み聞かせをしながらジャンプ

1 1 永明公民館

「産後ケア講座～バランスボールエクササイズ&おしゃべりママサロン～」 (※ 前橋市民提案型パートナーシップ事業)

(1) ねらい

- ① 出産を経験した女性たちが、自分のために心身をいたわりながら、母としてゆったりとした子育てを楽しむ機会とする。
- ② 子育て中の父母が交流する場となり、お互いに情報交換の機会とする。
また、子育てにおける夫婦の役割や、母親もひとりの社会人であることなど理解し合うきっかけをつくる。
- ③ 前橋市民提案型パートナーシップ採択事業「Cored woman project」賛同し、協働事業として実施する。

(2) 概要

対象：市内在住の10組 *連続講座

- ①第1・2回 生後2～8か月未満の子をもつ母親
- ②第3回 同上の子と父母

開催場所：永明公民館 ①②多目的室 ③第1会議室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師 (敬称略)	組数
1	6/28 (火) 10:00~12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスボールエクササイズ ・ ワーキング (ペアワーク方式) 「Good&New」、「母となった私を語ろう (人生、仕事、パートナーシップ)」 	実技	協働市民活動団体「上州mamato」 代表 峰岸圭衣	6
2	7/5 (火) 10:00~12:00				6
3	7/16 (土) 10:00~12:00				<ul style="list-style-type: none"> ・ 夫婦でバランスボールエクササイズ ・ 夫婦でワーキング 「Good&New」、「母となった私を語ろう (人生、仕事、パートナーシップ)」

(4) 評価と反省

参加者全員が永明地域在住者であり、情報源は公民館報であることが嬉しかった。あらためて館報の発信力を感じた。

母親は、久しぶりの全身運動だと真剣・楽しそうな表情で参加していた。初回から和んだ様子で始まり、参加者のわくわく感が伝わってきた。

おしゃべりママサロンでは、夫婦で話す機会が意外に少なかったと気づき、話し合いが新鮮だったとの感想があった。「自分のための時間」に気づいたと充実感が伝わってきた。先輩母の経験談を織り交ぜた会話も、情報交換に役立っている様子だった。第3回では、恥ずかしそうにしていた夫も、運動に夢中になっていた。途中子どもがぐずると、夫が協力的で面倒を見ていた。妻が第1, 2回よりも安心して楽しめている様子が、とても印象的だった。

各回終了後30分程度、会場内での交流タイムを設けた。2回目はメール交換を、3回目後はお互い写真を取り合うなど、とてもうち解けている様子だった。今後も幼保、小学校保護者として子育て仲間の関係が続いてもらえるよう期待したい。

反省点として、参加者の来館時間が揃わず、毎回開始時間が数分出遅れた。親子が落ち着いてから始めるようにしたが、冒頭の進行がうまくいかず、講師にも申し訳なかった。



つくってあそぼう！かんたん実験工作

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②子どもの好奇心を育む。
- ③地域の大学と連携し講座を開催する。
- ④休日に開催し、就労者の参加機会を確保する。

(2) 概要

対象：年少から年長の子どもとその保護者 10組

出席者：23人

永明公民館第1会議室で実施。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/3(土) 10:00~11:30	身近にある紙コップなどで工作する。	講義 実技	共愛学園前橋国際大学 短期大学部 教授 天宮陽子	23

(4) 評価と反省

就労者等も参加しやすいように土曜日の開催とした。結果、定員を超える申し込みがあり、また、父親が5名参加してくれた。子育て講座は、平日の開催だと申し込みが少ないので、今後も休日の開催を検討したい。講師のコンセプトが「親子ふれあい」であり、今回の講座では親子一緒に工作に取り組んだ。

また、作った後にどのように遊ぶかを考えることも、子どもの成長にとって重要とのこと。親子で話し合いながら楽しそうに作業している姿が見られ、本講座の趣旨を達成できたと思う。工作の合間には講師から子育てアドバイス(子どもにお手伝いを頼むときのコツなど)もあり、参加した親も熱心に耳を傾けていた。

参加者の講座に対する反応は良好であった。子育てに関する知識を習得するための座学も重要であるが、今回の講座のように親子一緒に作業する機会も大切。現在は共働き世帯も増加しており、親子であそぶ機会も減ってきているのではないかと思う。今後も親子のふれあいを重視した講座を企画していきたい。



講座の様子



講座の様子

災害にも役立つ！親子アウトドア料理

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②災害対策の意識を育む。
- ③地域の大学と連携し講座を開催する。
- ④休日に開催し、就労者の参加機会を確保する。

(2) 概 要

対象：年中から小学6年生の子どもとその保護者 8組

出席者：36人

永明公民館中庭で実施

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/16(日) 10:00~12:00	親子でアウトドア料理。 ハンバーガー、パスタなど	講義 実技	共愛学園前橋国際大学 短期大学部 大崎 香苗	23
2	10/23(日) 10:00~12:00	親子でアウトドア料理。 ハンバーガー、パスタなど	講義 実技	共愛学園前橋国際大学 短期大学部 大崎 香苗	13

(4) 評価と反省

家族そろって参加しやすいように日曜日の開催とした。結果、定員を超える申し込みがあり、父親も6名参加してくれた。子育て講座は、平日の開催だと申し込みが少ないので、今後も休日の開催を検討したい。

講師のローリングストックなどに関する事前アンケートを基に講義。今回のような講座で楽しみながらアウトドア料理を体験することは、いざという時に役立つことなどをお話いただいた。実習では親子で楽しそうに料理をしている姿が見られた。材料は何を使うかなど、親子で話し合っている姿もあり、親子のコミュニケーションの機会にもなった。料理はどれも簡

単に作れるものだったが、参加者からは「思っていたよりおいしい！」などの声があり、講座の帰りにメスティンを買って帰った参加者もいたようである。

参加者の講座に対する反応は良好であった。子育てに関する知識を習得するための座学も重要であるが、今回の講座のように親子一緒に作業する機会も大切。防災について親子で楽しく学ぶ機会となった。今後も親子のふれあいを重視した講座を企画していきたい。



講座の様子



講座の様子

バルーンアートで遊ぼう

(1) ねらい

- ① 子育て中の親等が、子どもと一緒に遊ぶための玩具を手作りする楽しみを味わう。
- ② 玩具遊びをとおして、子どもの感覚（触覚、視覚、色彩など）を刺激し、身近な物などへ興味を湧かせる。また、実際に触れさせてみることから、幼児期にめばえる好奇心などを育む。
- ③ 子育て中の父母が交流する場となり、お互いに情報交換の機会とする。

(2) 概要

対象：1歳半から3歳の子とその保護者

会場：永明公民館ホール

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/23 (日) 10:00~11:30	バルーンアートで遊ぼう	実技	バルーンアート講師 岡本 美由貴	18 (6組)

(4) 評価と反省

子どもが低年齢のため、母親が作りやすいように配慮してくれた。子どもも同伴なので、2作品程度で丁度作りやすかったようだ。子どもが途中で飽きてしまい、もう少し短時間でとの感想もあったが、全体の評価は満足度が

高く、もっと作りたかった気持ちが伝わってきた。子どもはバルーンをぎゅっと掴んだり、舐めようとしたりと興味津々な様子が微笑ましかった。

今回の情報源を聞き取りしたところ、ほぼ全員「公民館報」であった。チラシを地区内幼稚園へ配布したが2組の応募だった。園へ配布依頼する期間が短かった点を含め、募集組数に満たず周知方法に反省が残った。

母親同士で会話している様子も見受けられ、アンケートからも交流の機会を増やしたいと要望があった。続けて幼児期の親子交流できる講座をすすめたい。



おやこ茶道体験教室

(1) ねらい

- ①親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ②子どもが茶道文化に触れる機会を提供する。
- ③休日に開催し、就労者の参加機会を確保する。

(2) 概要

対象：年中から小学6年生までの子どもと保護者 午前3組 午後4組

出席者：15人

永明公民館和室で実施

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	1/28(土) 10:00~11:30	親子で茶道体験	実技	茶道部やよい会 (公民館利用グループ)	7
2	同日 14:00~15:30	親子で茶道体験	実技	茶道部やよい会 (公民館利用グループ)	8

(4) 評価と反省

平日働いている方も参加しやすいように土曜日の開催とした。結果、定員を超える申し込みがあり、講師の好意で午前・午後の2回開催とした。子育て講座は、平日の開催だと申し込みが少ないので、今後も休日の開催を検討

したい。

内容については、講師から茶道の概要説明があり、親子でそれぞれお茶を点てた。講師が、屏風や掛け軸、お花などを用意してくれ、お茶室の雰囲気を感じることが出来たと思う。参加者も程よい緊張感の中、真剣に取り組んでくれた。また、講師のやよい会に対しては、コロナ禍で文化祭等での活躍の場がなくなっていたため、学習成果を還元する場を提供でき良かった。

反省点は、未就学児も参加したが、時間が長く途中で飽きてしまった。対象年齢を分けるなどの工夫が必要だった。

参加者の中に茶道クラブに興味を持った方がおり、現役世代へ公民館活動を周知する良い機会となった。親子で参加できる行事があるのはありがたい、との声も頂いたので、今後も同様の講座を企画していきたい。

【午前】



【午後】



親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称 BP) 桂萱・永明・城南公民館合同開催

(1) ねらい

- ①初めて子育てをする母親が、安心できる雰囲気の中で子どもとふれあい、親子の絆を深める。
- ②乳児期の育児について、不安などを共有しながら必要な知識を学ぶ。
- ③同じ子育て万強にある親子の交流、情報交換の場とする。

(2) 概要

対象：前橋市内在住で、生後2～5か月の第1子（令和4年8月15日～12月14日生まれ）を育てている母親とその子（定員12組）

開催場所：永明公民館

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師（敬称略）	組数
1	2/14（火） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループワーク	前橋市子育て支援課 BP ファシリテーター	9

2	2/21 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			8
3	2/28 (火) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			8
4	3/ 7 (火) 10:00~12:00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に			8

(4) 評価と反省

・生後2～5ヶ月の第一子とその母を対象としたプログラム。対象が限定されるためか、なかなか申し込みが増えない。参加者募集は、合同の各公民館報のほか、子育て支援課事業「赤ちゃん訪問」の勧誘など協力を依頼した。

・毎回、自己紹介と最近一週間の振り返りを話すことから始まる。お互いにニックネームで呼び合う、プライバシーに配慮するなどのきまりもつくられ、うちとけやすい雰囲気づくりにも配慮されていた。毎回席替えをして、全員が交流できるのもよかった。

・初めは緊張ぎみで、わが子から目が離せない様子の母親たちに思えたが、次第に母親同士の会話や他の子どもの様子に関心を向けるなど、周囲に打ち解けてきた様子も見受けられた。

・ワークシートを元にお互いの悩み事などを知り、気持ちを共有し合うなど参考にしている様子だった。

・最終回、子育てママサロンのような公民館利用を勧めたところ、全員が希望してくれた。子育て支援講座の延長として公民館を利用し、親子の交流を深める場所として、公民館を知る機会に繋がられた。終了後、母親同志で連絡先を交換したり写真を撮り合っていた。

・事前打ち合わせ、準備片付け作業を、合同館担当者と子育て支援課で行った。パソコンの動画再生がうまくいかず、事前準備に戸惑ってしまった。

・会場は、和室が狭いため多目的室を利用した。壁面鏡の部屋で開放感がある使い心地だった。床はフローリングのため、莫藎を敷き詰めジョイントマットを個々に利用してもらった。

親子で作ろう！おうちでかんたん工作

(1) ねらい

家庭において、親子で一緒におもちゃ作りを楽しむきっかけとする。また、季節を感じながらふれあい時間を過ごす一助とする。

(2) 概要

対象：未就学児とその保護者

協力：朝倉児童館

親子でできる工作のキットを職員が作成し、希望者へ配布。配布個数は30個程度とし、公民館報で周知する。

(3) 内容

回	配布開始日	学習主題・内容	学習方法	協力者	配布数
1	2/10 (金)	「おひなさまの壁飾り」	材料配布	朝倉児童館	48
2	3/10 (金)	「春だよ！てんとう虫さんと遊ぼう」			42

(4) 評価と反省

- ・昨年度に続き、コロナ下においても親子の「おうち時間」を充実させる一助となる講座を企画。
- ・朝倉児童館から季節感のある工作案と見本をもらい、職員が実際に作ってから部品や説明書を作成した。未就学児がなるべく作れるように、色塗りやシール貼りなど簡単な工程は残しておき、手間のかかる細かな部分を職員が協力して作った。親が手をかけて楽しめる部分をもう少し残してよかったと感じた。
- ・材料は公民館在庫の余剰消耗品等を活用した。部品作りなども、職員間でアイデアを出し合った。
- ・配布方法は、公民館窓口で手渡し。また、図書館永明分館には、対象年齢の親子連れが多く利用しているため、図書館の協力を得て図書館利用者にも配布した。館内施設を知ってもらえる良い機会にもなった。窓口での配布は、親子へ直接声がけすることもありコミュニケーションも図れた。
- ・参加者の成果作品（写真）や感想は、公民館の代表メールに添付したり、直接持参する形で提供してもらった。（メール：3件、直接2件） また、ロビーに展示して来館者に鑑賞してもらった。
- ・持ち帰り講座のため学習成果を確認しにくいのが、作品を提供してもらい参加者の満足度を知ることができた。





「地域子育て支援センター共愛(オリーブクラブ)」事業との連携 親子で作ろう！おうちでかんたん工作

(1) ねらい

- ①信頼性のある地域専門機関と連携することで、公民館事業に興味を持って参加する機会を提供する。
- ②親子のふれあいを通してより良い親子関係を築く。
- ③悩み相談などが気軽に交わせる、子どもと一緒に楽しめる居場所を提供し、親のストレス軽減を図る。

(2) 概要

対象：3歳以下の子とその保護者3組 当日参加者数：2組（5名）

協力：永明公民館担当

実施方法：子育て支援センター共愛の事業「公民館で遊ぼう・オリーブクラブ」の1プログラムとして連携する。子育て支援センター共愛において募集等運営を取り纏める。

(3) 内容

永明公民館子育て親子支援事業「親子で作ろう！おうちでかんたん工作」講座のうち、「おひなさまの壁飾り」作品を作る。

(4) 評価と反省

今年度の連携は、コロナ禍の影響で中止していたが、ウィズコロナで実施している共愛側からの依頼により実施となった。ちょうど開催中である公民館主催「子育て親子支援講座（持ち帰り形式）」をこの連携に応用し、親子の様子が見える対面型の実施でとなった。

テープの巻き付ける様子では、テープを子どもに任せ、親は補助をした。手際の良さではなく、子どもができることを楽しませている様子が微笑ましかった。

割り当て時間40分位を見込んでいたが、仕上げるまで1時間要した。この工作セットは、親子がおうち時間でゆったりと作ってもらうことを目的

としていたので、今回のような実施形態となれば、所要時間の配慮が足りなかったと反省点も残った。

朝倉学童クラブの提供作品はセンター職員や母親からも好評で、嬉しそうに持ち帰ってもらえた。子育て関係機関同士が連携した成果を実感した。今後も連携できる機会をいかしたい。



12 城南公民館

産後ケア講座

(1) ねらい

- ①エクササイズや対話の場と主体的な学びの機会を提供する。
- ②参加者同士の交流を深めることで地域でのコミュニティ作りを支援する。
- ③まえばし市民提案型パートナーシップ採択事業「Cored woman project」の協働事業として実施し、それぞれの強みを活かすことで、公民館事業としての相乗効果を図る。

(2) 対象等

- ①② 2か月～8か月未満の子と母親
- ③ 2か月～8か月未満の子と父母

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	①6/22 (水) ②6/29 (水) ③7/9 (土) 【連続講座】 10:00～12:00	(各回共通) 10:00-11:00 バランスボールエクササイズ (60分) 11:00-12:00 ②おしゃべりママサロン (60分)	講義 実技	上州 mamato 峰岸 圭衣先生 石井 尚子先生	32人

(4) 評価と反省

反省事項（感想及び意見）

出産すると「私」を主語にした会話をする機会が少なくなるが、同年代の子どもを持つ親同士が集まり、一緒に運動し、対話の時間を持つことで、体力と自分を取り戻し、今後の人生も自分軸を大切に、地域で子育てして行く土台作りができる内容だった。

慌ただしい毎日の中で流されしまうことも、話すことで気づきを得られたという声をいただいたので、パートナーシップ事業の目的を達成できたのではないかと感じている。

講師の一人がコロナに感染してしまい、第2回目の前半は、急遽 Zoom での開催というハプニングがあったが、公民館に Wi-Fi ルーターを設置していただいたお陰でスムーズに実施できた。

アンケートも全員が満点評価でホッとしている。



バランスボールでエクササイズ



対話の時間では自分を主語にして話しました。

城南おやこひろば

(1) ねらい

①子育ての悩みや不安を共有し、安心・安全な場の中での親同士のコミュニティ作りを支援する。

②親子が触れ合う場を提供し、子育てに必要なヒントを学ぶ。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住の就園前の幼児と保護者7組

*連続講座

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
---	-------	---------	------	-------------	----

1	10/25 (火) 10:00~11:30	親子コンディショニングで 身体を整えよう！	講義 実習	(株) TOP JOINT 事業部 赤坂 幸枝	4人
2	11/8 (火) 10:00~11:00	子どもの映え写真 撮り方のコツ！	講義 実習	群馬県写真文化 協会理事 写団臨江 代表 須藤 剛	10人
3	11/15 (火) 9:30~12:00	クラフトバック制作	実習	クラフト手芸講師 重田 真由美	13人

(4) 評価と反省

募集の周知期間が短かったためか、なかなか参加者が集まらず苦戦しましたが、いざ開催してみると、少人数だからこそそのアットホームな雰囲気、初対面の子どもたちもすぐに打ち解け、仲良く遊んでいる微笑ましい姿を度々見られたので、ほど良い人数構成で開催できたと思います。

各回の講座内容も趣向に富んでいて、リフレッシュできたり育児に役立つ知識を教えていただき講座の趣旨は達成できたと思われまます。アンケートも全体的に概ね好評でありホッとしました。

連続講座の強みを活かして、参加者同士が交流と親睦を深める時間が設けられたので、今後の子どもの成長を、地域の中で顔を合わせた時に喜び合えるような関係性が形成された模様です。



親子コンディショニングの様子



映え写真撮り方のコツ大撮影会



クラフトバック制作の様子



映え写真講座／講師撮影作品

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:愛称 BP) 桂董・永明・城南公民館合同開催

(1) ねらい

- ①初めて子育てをする母親を対象に開催し、ゆったりとした母子の交流と乳児の子育て期に必要な情報交換や知識について学ぶ場とする。
- ②同じ月齢期の乳児とその母親を取り巻く不安や喜びを共有し、母として子どもの成長を見守るこころを育む

(2) 概要

対象：前橋市内在住の生後2～5ヶ月の第1子（令和4年8月15日～12月14日生まれ）を育てている母親とその子

延べ出席者数：1回目9組、2～4回目8組（全4回）

開催場所：永明公民館 多目的室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	組数
1	2/14 (火) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て 支援課 BP フェ シリテーター	1回目 9組 2～4 回目 8組
2	2/21 (火) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			
3	2/28 (火) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			

4	3/7 (火) 10:00~12:00	親になること ・今の私の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも大切に			
---	------------------------	--	--	--	--

(4) 評価と反省

講師と主催3館において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策（「新しい生活様式」に基づく利用ガイドライン）の徹底を図るなど協議を重ねた上で募集をした。周知方法は公民館報やチラシ等で行った。

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①地域の子育てに興味ある方を対象に、現在の子育て世代の支援に役立つ知識を学ぶ。
- ②学童期の子をもつ家庭を取り巻くコロナの影響や数年後を見据えた今の対応などを学ぶ。

(2) 対象等

地域子育て支援者（保健推進員、地域ボランティア、民生委員等、子育て支援に興味ある方）

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/20 (火) 10:00~11:30	コロナの子どもへの影響数年後を見据えた今の対応	講義	共愛学園前橋国際大学 地域共生研究センター 前田 由美子	30

(4) 評価と反省

- ・自分が親の時には実行出来なかった事や、今だから気づく事、自分の子育ても間違っていなかったのかも知れないという安心感など多くを学べる講座となりました、参加者の中にも、今祖母と言う立場にたって孫の手助けができる様に学びました。今後の活動に活かしたい。
- などと前向きな意見をいただきました。参加者も皆夢中に聞きながら聞き入っている様子がとても印象的であった。しかし、日本の子供の幸福度があまりに低いので驚きました。
- ・世代間のギャップに戸惑いながらも、いまどきの子育てに対する思いなど知る機会になったと思われる。
- ・反省点は、今子育てをしている世代の方の参加が少なく残念であった。



講義後の質疑応答



講義の様子

13 大胡公民館

ママたちのひろばベビー

(1) ねらい

① 6ヶ月から1歳6ヶ月の子を持つ親子が、講座をとおして子育ての知識や技術を学び、親子の交流を深める。

② 親同士の交流を深めるとともに、大胡公民館で開室している「子育て遊び場おおご」の活性化（再開）を図る。

(2) 対象等

対象：6ヶ月から1歳6ヶ月の子を持つ親子8組。

周知方法：公民館報、チラシ等

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/12 (火) 10:00~12:00	親子のふれあいを楽しもう ～赤ちゃん体幹運動～	実習	坂本 ゆきえ	14人
2	7/19 (火) 10:00~12:00	親子のふれあいを楽しもう ～手形・足形アート～	実習	坂本 ゆきえ	14人

(4) 評価と反省

赤ちゃんの月齢が近いため、お母さん同士は共通の話題で会話が進み、ふれあい遊びや体幹運動、手形足形アートなど楽しい時間を過ごすことができたように思える。

コロナ感染者増加に加え、夏場の開催であったため、熱中症の心配もあったが、こまめに水分補給をお声がけしていただくなど講師のご配慮があり、お母さんもお子さんとも元気に過ごし、大変充実した時間となり、アンケートでは、参加者全員から「とても分かりやすく良かった。今後子育てをしていく中で取り入れていきたい。」という声をいただいた。



赤ちゃん体幹運動



手形・足形アートを楽しむ様子

ママたちのひろば

(1) ねらい

- ①未就学児の子どもを持つ親が、講座をとおして子育てについて学び、交流を深め、教育の出発点である家庭教育力の向上を目指す。
- ②大胡・宮城・粕川の3公民館の合同講座を開催し、親子の交流を図る。

(2) 対象等

対象：未就学児を持つ保護者と子 8組。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/5 (水) 10:00~11:00	歯と口の健康を考えよう 「Face&Mouthトレ」	講義	市健康増進課 歯科衛生士 亀山 知香	5人
2	10/15 (土) 10:00~12:00	親子で一緒にリトミック! 三館(大胡・宮城・粕川) 合同開催	実習	リトミック講師 飯塚 一美	11人

(4) 評価と反省

1回目の講座は、健康増進課出前講座「歯と口の健康」についてお話をいただいた。マスク生活も長くなり、お母さんたちにとって関心のある内容だったようで、真剣に聞き入っていた。また、お子さんの歯磨きや、歯磨き粉についての質問がたくさんあり、丁寧に詳しく教えていただいた。当日の欠席者もいて参加者が少なく残念であったが、充実した1時間となった。

2回目のリトミック講座は、大胡・宮城・粕川の三館合同で行った。毎年恒例となっている。今年度は、9組の申込があったが、当日4組が欠席となってしまった。就学前のお子さんと親が対象であったため、数ヶ月のお子さんの参加もあり、年齢に大きな幅があり心配であったが、講師の飯塚先生は上手に楽しませてくださり、会場は和やかな雰囲気となった。お子さんだけでなく、お父さんやお母さんも楽しい時間となったようだ。「家庭でもリズム遊びを取り入れると、『瞬発力=聞く力』につながる。」と講師の先生が話されていたので、実践していただけると良いと感じる。



3館合同の「親子でリトミック」

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称BP) 大胡・宮城・粕川公民館合同

(1) ねらい

- ①第1子(2～5ヶ月)の子を持つ母親が、専門家のアドバイスを受けることにより、今後の子育てに必要な知識を学ぶ。
- ②育児に対する不安や悩みを母親同士で共有し、前向きに子育てに取り組む。
- ③3地区合同で事業を行うことにより、広い地域での交流や仲間づくりを促進する。

(2) 対象等

対象：第1子(令和4年5月25日～9月24日生まれ)とその母親8組。

(3) 内容 市子育て支援課BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師(敬称略)	組数
1	11/24(木) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て 支援課 (BPファシ リテーター) 保健師 町田 彩 保健師 志村 瑠梨佳	4
2	12/1(木) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			4
3	12/8(木) 10:00～12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			4
4	12/15(木) 10:00～12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に 赤ちゃんも大切に			5

(4) 評価と反省

参加者が少なく残念ではあったが、少人数だったことで、お母さん同士がお互いの育児や日頃の悩みごとなどをじっくりと話し合えたように思える。

また、回を重ねるごとに和やかな雰囲気となり、ニックネームで自然に呼び合うなど交流を深めていたようである。特に終了時間までの交流タイムでは時間が足りないほど話が弾んでいた。

コロナ禍でお母さん同士の交流の場を持つことも難しい中、初めてのお子さんを持つお母さん同士が、公民館に来てくださり、一緒に子育てに必要な知識を学び、不安や悩みを話し合える時間を持てたことは大変良かったと感じる。

アンケートでは、とても分かりやすい講座で、有意義な時間を持てたという声をいただいた。



バランスシートを使い全員で話し合う



親子のふれあいタイム

1 4 宮城公民館

めばえ学級

(1) ねらい

- ①親子がふれあう機会を提供し、より良い親子関係を築く。
- ②同年齢の子を持つ保護者が交流し、健やかな子どもに育つよう学習することで子育ての不安軽減を図る。
- ③本事業の効果をより高めるため近隣公民館と連携して取組む。

(2) 概 要

対象：1歳6か月～3歳児とその保護者

周知方法：公民館報、ホームページ、ポスター、チラシ

在籍数 3組 延べ出席者数 2人

(3) 内 容

(敬称略)

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	6/23 (木) 10:00～11:30	開級式 楽しく遊ぼう ぬり絵・手遊び・体操等	実技 工作他	第1・2・3・ 4・6回は 毎回3人	中止

2	7/7 (木) 10:00~11:30	七夕まつり ささ飾りの制作 体操・紙芝居等	実技 工作他	田中 房江 横山 幸代 大崎 知子 第5回 飯塚 一美	中止
3	9/15 (木) 10:00~11:30	体育あそび 楽しくからだを動かそう 楽しい親子遊び	実技 工作他		中止
4	10/6 (木) 10:00~11:30	季節の作品づくり 秋の作品制作 (文化祭に出品) 手遊び・体操等	実技 工作他		中止
5	10/15 (土) 10:00~12:00	親子リトミック リズムにあわせて動いてみよう 三館合同 (大胡・宮城・粕川)	実技 工作他		宮城 1組 2
6	12/22 (木) 10:00~11:30	クリスマス会 プレゼント交換 工作・手遊び・体操等 閉級式	実技 工作他		中止

(4) 評価と反省

参加申し込み者が2組だったため参加者同士の交流も難しく、講師の方と相談し、第5回(三館合同親子リトミック)以外の講座を中止とした。

第5回目の再募集で1組の申込みがあり、宮城地区は3組となったが、当日の参加は1組だった。参加者はめばえ学級の対象年齢より下の年齢だったが、子どもを抱っこして参加し、他の参加者との交流も行っていった。

地区の対象者は減少しているが周知方法や講座回数などを検討し、次年度の講座を考えたい。

ひよこ学級

(1) ねらい

- ①親子がふれあう機会を提供し、より良い親子関係を築く。
- ②リフレッシュできる時間を提供する。
- ③同年齢の子を持つ保護者が交流し、健やかな子どもに育つよう学習することで子育ての不安軽減を図る。

(2) 概要

対象：1歳6か月未満児とその保護者

周知方法：公民館報、ホームページ、ポスター、チラシ

在籍数 9組 延べ出席者数 35人

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師(敬称略)	人数
1	9/7 (水) 10:30~12:00	「親子のふれあい遊び」 子どもの発育と運動、遊び	講話 実技	幼児教育アドバイザー 今井 寿美枝	4組 9

2	10/5 (水) 10:00~12:00	「成長の記録にひと工夫」 楽しい遊び、手形足形アート	実技	petapeta-art ア ドバイザー 坂本 ゆきえ	7組 14
3	10/19 (水) 10:30~12:00	「たのしいおはなし会」 絵本の選び方、読み聞かせの コツ、タオル人形作り	講話 実技	たこさんのおは なしや代表 田子 智代	6組 12

(3) 内容

(4) 評価と反省

6組募集のところ、9組の申込みがあり、そのうち地区内は2組であった。

親子遊びは、毎回取り入れてほしいとの要望があり、親子のふれあいの時間や親子で体験できる内容としている。

2回目の手形足形アートの作品作りは、託児なしで実施した。保護者は熱心に制作していたが、子どものお世話をするために作業を中断する場面が多々あった。今後は子どもが飽きずに過ごす環境づくりや、保護者が制作しやすくするための工夫をしていきたい。

アンケートでは、「勉強になった」、「とても楽しかった」、「内容が充実していた」などの感想があった。育児についての知識を得て、参加者同士の交流も図ることができた講座になったと思う。

愛称BP 親子の絆づくりプログラム赤ちゃんがきた！

(1) ねらい

- ①第一子（2～5か月）の子を持つ母親が、専門家のアドバイスを受けることにより、今後の子育てに必要な知識を学ぶ。
- ②育児に対する不安や悩みを母親同士で共有し、前向きに子育てに取り組む。
- ③3地区合同で事業を行うことにより、広い地域での交流や仲間づくりを促進する。

(2) 概要

対象：市内在住の2か月～5か月の第一子とその母親

周知方法：公民館報・チラシ・ホームページ等

申込者 5組 延べ人数 34人

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容・方法等	人数	講師（敬称略）
1	11/24 (木) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	4組 8	前橋市子育て支援課 (BPファシリテーター)

2	12/1 (木) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える	4組 8	保健師 町田 彩 保健師 志村瑠梨佳
3	12/8 (木) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防	4組 8	
4	12/15 (木) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も大切に 赤ちゃんも大切に	5組 10	

市子育て支援課。BP独自のテキストを使う参加型のプログラム。

(4) 評価と反省

少人数の参加者だったため、より和気あいあいとした雰囲気の中学習でき、近い月齢の子の母親同士、悩みや不安が話しやすそうであった。参加者の満足度も高く、引き続き次年度も継続して開催し、情報交換や相談をし合える場の提供を図りたい。

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①保護者同士の交流や仲間づくりのきっかけを作る。
- ②子育ての不安やストレスの軽減を図る。
- ③保育者と保健推進員の交流を図る。

(2) 概要

未就学児の保護者、保健推進員、一般成人 12組
公民館報やポスター、チラシ、ホームページにて募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/22 (火) 10:00~11:30	バルーンアート体験	実習	群馬トヨペット株式会社	11組 13

(4) 評価と反省

大人11人のうち、2人が親子での参加となった。

バルーンアート未経験の方、既に経験したことのある方、お子さん連れの方など、様々な状況の方々が参加されていたが、一人一人進み具合を確認しながら実技指導をしていただき、わかりやすい講座内容であった。講座後、講師に

質問をする場面も見られた。アンケートで子どもに作ってあげたい、一緒に作りたい等の感想があり、子育てをする際の参考になる内容であったと思う。

15 粕川公民館

はぴまま子育て教室(前期)

(1) ねらい

- ①親子が共に学び、体験することで心豊かな親子関係をつくる。
- ②子育ての不安解消やリフレッシュの場とする。
- ③同年齢の子を持つ母親同士が交流することで、地域の中で子育てなかまを増やす。
- ④地区内で未就学児親子のための事業を実施している施設間が連携・協力することで、それぞれの参加者同士を繋げ、地域交流の輪を広げる。

(2) 対象等

対象：未就学児とその保護者5組程度 ※第1回のみ16組

周知方法：粕川公民館報、連携施設にチラシ配布、館内ポスター掲示

連携：粕川児童館、母親クラブ、子育て支援センター

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	5/20(金) 10:00~11:00 11:00~12:00	手形・足形アートパズルを作ろう ※粕川児童館共催、母親クラブ協力	実習	講師 坂本 ゆきえ 協力者 高橋 陽子	7組 14
2	6/24(金) 10:00~11:30	心を軽くする大人のための 絵本セラピー	実技	講師 井田 久美子 協力者 高橋 陽子	4組 8
3	7/21(木) 10:00~11:30	子育て支援センターの夏祭りに参加しよう！ ※粕川保育所子育て支援センター「さくらんぼクラブ」共催	実技	保育所職員 公民館職員	12組 27

(4) 評価と反省

粕川地区内の各施設で子育て支援の事業を行っているが、参加者の固定や減少など、それぞれ共通の悩みが多いことが分かった。今年度は、地区の公的施設や子育て支援団体と協力して事業を実施することに、重点を置いた。

それぞれの参加者同士を繋げ、新たな交流の輪を作ることを目的として、参加者募集を行った。参加者のうち2~3組は、それぞれの施設で子育て支

援等の活動を行っていることを知らなかったようだった。数名ではあったが、参加者同士を繋げることができたと思う。

苦勞した点は、打ち合わせで「公民館のねらい」と「連携先のねらい」をすり合わせて、お互いにとって良い形に整えなければならないところである。しかし、事前打ち合わせを行い、お互いの意向や役割分担をはっきりさせておけば問題はなかった。



絵本セラピー



夏まつり

はぴまま子育て教室(後期)

(1) ねらい

- ①親子が共に学び、体験することで心豊かな親子関係をつくる。
- ②子育ての不安解消やリフレッシュの場とする。
- ③同年齢の子を持つ母親同士が交流することで、地域の中で子育てなかまを増やす。
- ④地区内で未就学児親子のための事業を実施している施設間が連携・協力することで、それぞれの参加者同士を繋げ、地域交流の輪を広げる。

(2) 対象等

対象：未就学児とその保護者 8組

周知方法：粕川公民館報掲載、回覧、ホームページ掲載等

連携：三館合同（大胡公民館、宮城公民館）、粕川児童館、母親クラブ、粕川地区民生委員児童委員

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	10/15 (土) 10:00~12:00	親子リトミック (三館合同)	実技	飯塚 一美	5組 11
2	11/8 (火) 10:00~11:20	人形劇とバルーンアート ※粕川地区民生委員児童委員「きりんルーム」共催	鑑賞 実技	田子 智代	5組 10

3	11/30 (水) 10:00~12:00	しめ縄飾りを作ってみよう ※粕川児童館共催、母親クラブ協力	実技	北爪 麻衣子	13組 26
---	--------------------------	----------------------------------	----	--------	-----------

(4) 評価と反省

前期に引き続き、後期も地区内の団体等と連携・協力して事業を行った。

第3回のしめなわ飾りは、母親クラブ会員の意見で、本格的なしめ縄飾りを稲わらから作ってみたいという希望があった。講師が、しめ縄飾りの意味などを話してくれたため、実技だけでなく知識も得ることができた。



人形劇とバルーンアート



しめなわリース作り

家族のハッピープロジェクト

(1) ねらい

- ①親子が共に学び、楽しい時間を共有することで、家庭内でのコミュニケーションを促進させる。
- ②小学生の子を持つ保護者が交流し、地域での仲間づくりに繋げる。
- ③普段忙しい子育て世代にリフレッシュの場を提供し、親子のストレス軽減を図る。

(2) 対象等

対象：地区内小学生とその保護者 10組20名程度

周知方法：地区内小学校にタブレット端末経由でチラシ配布、公民館報

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	5/22 (日) 10:00~12:00	「多肉植物で自分だけの箱庭を作ろう」 多肉植物の箱庭 (寄せ植え) 作り	実習	原島 春菜	15組 大人15 子供17 計 32
2	7/9 (土) 10:00~12:00	ミニ四駆作り 車の整備方法を学ぶ 車のタイヤ交換	実習	群馬トヨペット (株) (企業の出前講座)	10組 大人10 子供13 計 23

3	8/11 (木) 10:00~12:00	「親子で楽しく学べる食育 &ハンドメイド教室」 ①食育アプリを使った食育 教室 ②イニシャルキーホルダー 作り	講習 実技	①食育教室 大塚製薬 (企業の出前講座) ②ハンドメイド 大矢 宏美	12組 大人12 子供13 計 25
---	-------------------------	--	----------	--	-----------------------------

(4) 評価と反省

第1回の多肉植物は、水やりなどの手間がかからず、手軽に楽しむことができるので、忙しい子育て世代向けの植物であると考え、企画した。参加者は自分でテーマを決めるなどして思い思いの作品を作り、納得のいくものがあったようだった。また、アンケートで参加者の満足度が高く、回答者全員が満足度100%（又はそれ以上）の評価だった。そういったことは今までなかったため驚いたが、講師の丁寧な指導のお陰だと思っている。

第2回は、企業の出前講座を活用して、「キッズエンジニア体験」を行った。車に関する教室だったため、普段より父親（祖父）の参加が多かった。

ミニ四駆づくり体験は、低学年には少し難しいようだったが、親子で参加する講座だったため、大人の手を借りて仕上げることができた。子どもたちは、初めての工具の扱いに苦戦しながらも、楽しく学ぶことができていた。

第3回は、2部構成の講座を企画した。前半は食育アプリを使った食育教室、後半は、レジンのイニシャルキーホルダー作りを行った。

食育教室では、大塚製薬さんが開発した食育アプリ「スケッチクック」を実際に体験し、ゲームのように遊びながらアプリを楽しんでいた。その間、保護者向けの講義を行ってくれたため、大人にとっても学びになる講座だった。

ハンドメイド教室は、親子でコミュニケーションを取りながら、作りたい作品イメージを話し合う姿があった。反省点として、2部制にしたが、一連の講座というのが分からなかったらしく、2組遅れて参加してきた。チラシの表記を誰にでも伝わるようにすべきだと反省し、今後に活かしたい。



箱庭作りの様子



出来上がった作品



自作のミニ四駆をコースで走らせる



車の整備について学習



食育教室



ハンドメイド作品（見本）

「未来型スポーツ(HADO)を楽しもう」

(1) ねらい

- ①正しいメディアの使い方を親子で学び、今後の家庭教育に役立ててもらおう。
- ②地域の大人として子どもにできることを考え、地域の子どもは地域で育てるという意識を持ってもらう。
- ③次世代の新たなスポーツの「カタチ」を体験する。
- ④小学生同士の仲間づくりと異学年交流の機会とする。
- ⑤教室を通じて、子どもの自主性・協調性を育み、チームの仲間と協力してプレイを行う。

(2) 対象等

対象：粕川地区内在学の小学生とその保護者 42組

周知方法：地区内小学校にタブレット端末経由でチラシ配布、粕川地区子ども会育成団体連絡協議会経由で募集

協力：粕川地区子ども会育成団体連絡協議会

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
---	-------	---------	------	-------------	----

1	9/3 (土) 10:00～11:30	①メディア講習会 ②保護者講習会「地域の大人としてできること」、子ども対象の事前講習会 (青少年体験・チャレンジ活動事業共催)	講義	青少年課 (出前講座) 藤井指導主事 恩田指導主事	11組 大人11 子供14 計25
2	9/11 (日) 10:00～12:00	ARスポーツ体験会 「HADO」 (青少年体験・チャレンジ活動事業共催)	実技	(株) コシダカ アクエル前橋営業部	12組 大人12 子供15 計27

(4) 評価と反省

親子講習会は、低学年の子には少し難しい部分もあったが、みんな良く聞いてくれていた。また、講師の先生が所々親子で相談する時間を取ってくれたため、親子でメディアの使い方を考える良い機会になった。ただ、約1時間の講演会は低学年には少し長く、集中力が続かない子がいたので、あと少し短く設定しても良かったかもしれない。

当日は、社会教育実習生4名がサポートに入ってくれたので、受付やグループ活動の時に大変助かった。

ARスポーツ体験会では、動きに慣れない子や操作方法に戸惑う子がいても、HADOのスタッフが丁寧に教えてくれたので、すぐに慣れたようだった。また、機械の電源が入らない等のトラブルがあっても、すぐに対処してくれたので、滞りなく実施することができた。

本来であれば、午前と午後の2回に分けて体験会を行う予定だったが、参加人数が想定より少なかったため、午前中の1回で実施することになった。

当初は7チームでの対戦を考えていたが、機械の装着に割と時間がかかるため、待ち時間を考慮すると、今回位の人数(5チーム)が適当だと感じた。

子育て支援講座兼子ども会育成団体連絡協議会初級認定講習会

(1) ねらい

①地域の団体と協力・連携し、コロナ禍での運動不足を解消し、子育て世代の体力向上と健康維持を図る。

②子ども会育成指導者へ、地域活動等への積極的な参加を促し、地域で子どもを育てるという意識を持たせる。

(2) 対象等

対象：粕川地区子ども会育成団体連絡協議会理事 20名程度

周知方法：地区内小学校にチラシ配布、公民館報

連携：粕川地区子ども会育成団体連絡協議会

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	4/23(土) 10:00~12:00	「コロナに負けるな! 自宅でできる運動不足解消 法を学ぼう」	実技	健康運動指導士 桑原 順一	16

(4) 評価と反省

今回、講習会の参加者が子ども会育成会の役員だったため、講師から、子どもと一緒にできるレクリエーション的な運動を教えてもらえた。頭の運動にもなるレクリエーションであった。グループ分けや子ども同士の最初のコミュニケーションとして使えるもので、今後の子ども会活動の時に大変役立つと感じた。

今回の講習では、役員同士が交流している姿も見られ、楽しくリフレッシュできていたようだった。



研修会の様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称BP) 大胡・宮城・粕川公民館合同

(1) ねらい

- ①第一子(2~5ヶ月)の子を持つ母親が、専門家のアドバイスを受けることにより、今後の子育てに必要な知識を学ぶ。
- ②育児に対する不安や悩みを母親同士で共有し前向きに子育てに取り組む。
- ③3地区合同で事業を行うことにより、広い地域での交流や仲間づくりを促進する。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子(令和4年5月25日~9月24日生まれ)とその母親

在籍者数：5組 延べ人数：34名(母親：17名、子：17名)

周知方法：粕川公民館報掲載、チラシを回覧、掲示

(3) 内容

市子育て支援課 BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師（敬称略）	組数
1	11/24(木) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て 支援課 (BPファシ リテーター) 保健師 町田 彩 保健師 志村 瑠梨佳	4
2	12/1(木) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な生活リズムを整える			4
3	12/8(木) 10:00～12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳児期の心の発達の大切さを知る			4
4	12/15(木) 10:00～12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切に育児から 学ぶ			5

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスの影響か、例年より参加者の集まりが悪く、参加申込者が少なかった。しかし、少人数であったため、割とすぐに打ち解けられたようだった。交流タイムが終わっても駐車場で話している姿が見られ、仲間づくりがうまくできて良かったと思う。

16 富士見公民館

おやこ教室 with little

(1) ねらい

- ①参加者同士の交流を図る。
- ②子どもとスキンシップ図り、学習内容の理解を深める。
- ③講座をとおし母親がリフレッシュする時間を持つ。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住の1歳半から3歳の子を持つ親子 先着10組
 在籍者数：6組 延出席者数：親14名 子17名 合計31名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	10/24(月) 10:00～11:30	きらきら笑顔で親子遊び ふれあい遊びを楽しもう	実習	子育て支援課 こ ども発達支援セン ター 保育士・保健師	6

2	11/9(水) 10:00～12:00	アンデコールロゼットを作ろう 針も糸も使わないでつくれちゃう	実技	アンデコールロゼット認定講師 本間 奈津希	1
3	11/14(月) 10:00～11:00	あなたのおすすめの本 教えて【中止】 仲良くビブリオバトル！	実践	職員対応	0
4	11/24(木) 10:00～11:30	バルーンアートで楽しもう いろいろな形を作って遊ぼう！	実習	バルーン講師 岡本美由貴	2
5	11/28(月) 10:00～11:30	今日から怒らない！おやこをつなぐ楽しいお片付け 親子でお片付けのコツを学ぼう	講義	ママカタ士・整理収納教育士 山田 千里	3
6	12/9(金) 10:00～11:30	ギターで手遊び・歌遊び ♪リズム遊び！ 音楽に乗っているような遊びを楽しもう	実技	群馬医療福祉大学准教授 田中 輝幸	2

(4) 反省と評価

当初、8月から10月で開催予定だったが、募集時期が、新型コロナウイルス感染症が感染拡大していた時期と重なってしまい、申込が1組しかなかったため、やむを得ず延期とし、時期をずらし、再募集し実施した。

元々、参加者も少なかったが、体調不良での欠席も多く、コロナ禍での開催の難しさを感じた。また、お見えにならないので連絡したところ忘れていたという場合も何度もあったので、今後、初回に講座の予定表を配るなど、改善策を考えたい。参加者なしという回もあったが職員対応だったため、講師等には迷惑をかけずに済んだ。「今日から怒らない！おやこをつなぐ楽しいお片付け」の回では感染拡大防止のため、託児を依頼するのは難しいため、同じホール内に遊び場スペースを設け、職員が子どもの見守りを行った。行き来はしていたが、問題なく、講義を聞くことができたと思う。講義の他に、整理収納をテーマにしたゲームを行った。よりわかりやすくなるとともに受講者同士の交流になっていた。



きらきら笑顔で親子遊び



バルーンアートで楽しもう

おやこ教室 with kids

(1) ねらい

本事業は、以下のねらいを持って開催いたします。

- ①参加者同士の交流を図る。
- ②子どもとスキンシップ図り、学習内容の理解を深める。
- ③講座をとおり、ものづくりの楽しさを知る。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住の年中児から小学2年生までの子を持つ親子 先着6組

在籍者数：6組 延出席者数：親18名 子18名 合計36名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	12/17(土) 10:00~12:00	陶芸教室(成形) ~粘土をこねて形を作ろう~	実習	うつわ工房 風う さぎ 酒井 晶子	6
2	1/7(土) 10:00~12:00	陶芸教室(色付け) ~色を選んでつけよう~	実習	うつわ工房 風う さぎ 酒井 晶子	6
3	1/21(土) 10:00~12:00	料理教室+ミニ食育講座 ~中華まんを作ろう&陶 芸作品を受けとろう~	実習	日本食育インストラクター・和食アドバイザー 酒井 晶子	6

(4) 反省と評価

1・2回目で陶芸作品を作り、3回目で作品を受けとりに来ながら、料理教室とミニ食育講座を実施した。1回目では親子で一緒にコーヒーカップやお皿などを作り、楽しんでいた。2回目は密にならないよう前半後半の2班に分かれて来てもらい、実施した。作業効率的にもその方がよかった。3回目は親子で中華まんを作った後、子どもに前に集まってもらい、講師に食育のお話をしてもらったが、子どもに問いかけたり、カードを使ったりして説明してくれ、子どもも思った以上に真剣に聞いていて、興味を持ってくれたようだ。食育を取り入れたことでより充実した講座になった。



陶芸教室(成形)



陶芸教室(色付け)

おやこ教室 with baby

(1) ねらい

本講座は、下記のねらいを持って開催いたします。

- ① 乳児とのスキンシップを充分楽しみ、親子の交流を深める。
- ② 講座をとおして心も身体もリフレッシュする。

(2) 対象等

対象：首が据わった子から1才未満の子を持つ親子 先着10組

在籍者数：10組 延出席者数：親18名 子18名 合計36名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	組数
1	2/28(火) 10:00~12:00	ふれあい遊びと手形・足形作品作り	講義 実技	petapeta-art アドバイザー 坂本 ゆきえ	10
2	3/14(火) 10:00~11:00	抱っこでエクササイズ	実技	マミーナボディメソ ッドインストラクター 峰岸 圭衣	8

(4) 反省と評価

手形・足形作品作りでは、お子さんの手形や足形を使って色々アレンジし、オリジナルの記念に残る作品ができていた。とても喜んでもらっていた。また「抱っこでエクササイズ」でも子どもとふれあいながら体を動かさせ、とてもよかったとアンケートでも好評だった。終了後、受講者同士で残って話す姿もみられ、交流もできたようだ。

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんが来た！”(ベビープログラム:略称BP) 南橘・芳賀・富士見合同開催

(1) ねらい

- ① 初めての子育てをしている母親を対象に開催し、交流・情報交換の場とする。
- ② 育児に対する不安を軽減する。
- ③ 乳児期の育児について必要な知識を学ぶ。

(2) 対象等

対象：市内在住の第一子(令和3年11月12日~令和4年3月11日生まれ)を持つ母親とその子8組

在籍者数：7組 延出席者数：56名(全4回)

開催場所：南橘公民館

(3) 内容

子育て支援課BP独自のテキストを使う参加型のプログラム

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	5/11(水) 10:00~12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママからの育児を知る	グループ ワーク	子育て支援課 BPファシリ テーター	7
2	5/18(水) 10:00~12:00	赤ちゃんのいる生活 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる 生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える			7
3	5/25(水) 10:00~12:00	赤ちゃんとの接し方 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・身体の発達と事故予防			7
4	6/1(水) 10:00~12:00	親になること ・私の今の心の状態を考える ・パートナーや周囲の人の力を借り る ・自分も大切に、赤ちゃんも大切に			7

(4) 反省と評価

テキストやDVDによる学びはもちろん、グループ形式で討議したり、情報交換したり、回を追うごとに受講者同士が目に見えて仲良くなり、とても有意義な講座だった。